

田池留吉著

意識の流れ

— アルバートとともに —

あなたは、今までにこの世の中のどこかに真実というものがあるのではないか、今はまだ何かわからないけれど、絶対に変わることはない本当のことがあるのではないか、と考えてみたことはないですか。私がお伝えしたい真実とは「私達人間は肉ではありません。本当の姿は意識であって永遠に存在するものです」ということです。真実の世界はあなたの頭では分からない、あなたの心でしか分かりません。

はじめに

あなたは今、意識の流れを感じていますか。すべての意識はその流れの中にあります。

私は一人でも多くの方に真実を伝えるため、初めてこの地球に肉を持ちました。セミナーとホームページを通して約二十年の間、真実を伝え続けてきました。その甲斐あって、ようやくその真実に目覚めた方が、まず一人現れました。そして、この方を初めとして多くの方々と二五〇年後、アメリカの地にて肉を持ち、今世で学んだものを繋いでいくシナリオが次第に明らかになってきました。私達は今、最高に幸せです。現在の私達にとって、生も死もただありがとう、幸せ、喜びです。人生は苦ではなく喜びだということです。

私がお伝えしたい真実とは、「私達人間は肉ではありません。本当の姿は意

識であつて永遠に存在するものです」ということです。まさにコペルニクスの転回です。肉を本物としてきた人類は、その時からずっと間違つてきました。今も間違つています。その歴史を見れば明々白々です。平和を叫び、幸せを願ひ、祈り続けてきた現実はどうだったでしょうか。いまだに無知とエゴと欲にまみれ、真実の世界を知らず意識の流れに逆らつて生きている人類は、これからも本当の平和とか、幸せ、喜びなど分からぬまま、地獄から出て地獄に帰る転生を限りなく繰り返していくことでしょう。

あなたは意識の流れを知らないまま死んでしまつてもいいのでしょうか。私はあなたが真実の世界を知つて、本当の自分に出会い、本当の人生を生きていつていただきたいと願つています。

ところで、私は若い頃からずっと私自身に次のような事柄について問うてきました。

目に見える世界と目に見えない世界との間は一体どうなっているのか。

私はどこから来てどこへ行くのか。

私はなぜ生まれてきたのか、どうして今ここにいるのか。

母親とは一体私にとってどんな存在なんだろうか。

私とは一体何者だろうか。死ぬまでに一度でいいから本当の私に会いたい。私が色々のことで苦しんだり、悩んだりするのはどうしてか。

今のまま精一杯生きていけばいいのか。何か間違っているのではないか。神仏というものは本当に存在するのか。本当に私を助け守ってくれるのか。

このまま死んでいてもいいのか。死後の世界はあるのか。天国地獄は本当にあるのか。

セミナーを閉じるに当たって、私は私自身に問うてきた事柄を明らかにしながら、真実の世界、意識の流れをはっきりと書き残しておきたいという思いが強くなってきました。そこで真実にいち早く目覚められた方に私の思いを伝え

たところ、「はい」と二つ返事で引き受けてくださいました。この方からは毎日のようにメッセージが私のところに届きます。それらはすべて私のホームページ (<http://www13.ocn.ne.jp/~utamate/>) に核からのメッセージとしてお伝えしています。その中から抜粋したものを紹介しておきましょう。

私は信じていただけです。心の中から突き上がってくる思い、噴き上がってくる思い、肉で止められないその体験こそが動かし難い現実でした。それ私は頭で分析せずに、ただ感じ、信じていったのです。言うならば、それほど衝撃的であったということでしょう。だから心で感じ、心で分かっている以外にどうしようもないと言えます。どんなにしても肉で分かる世界ではないということです。

私がどんどん広がって、私は[※]アルバートを信じるもの、私の中にアルバートが実在しますという思いが溢れ^{あふ}出てくる、同時に間違ってきましたという懺悔^{ざんげ}の思いも噴き出してくる、そして限らない温もりと優しさが心に充満してきま

す。これらはみんな頭ではないから、信じる信じないの範疇はんちゆうではなく、ただ私にはそれが現実であり、その世界が確かにあることを私は告げているだけです。温もりに触れた意識達の思いだけが心に響き、そして、それは紛れもなく私自身、私が嘖き上がってきます。喜びがどんどん大きくなる、間違ってきた自分に出会うたびに喜びが大きくなっていく、それは肉の世界では絶対あり得ないことです。そこが肉基準と決定的に違うところです。その醍醐味だいごみを私の心は知っています。

温もりにどんどん触れていくから真っ黒がどんどん出てくる、真っ黒がどんどん出てくるからさらに温もりの世界へと浸透していく、そうです、アルバートへ帰っていく意識達の喜びは計り知れないものです。その喜びの道をあなたもどうぞ歩いていきませんか、ぜひ歩いていってくださいと伝えていきます。

私は自分の中の膨大なエネルギーを心で見つめています。狂い続け、苦しみ続けてきたそのエネルギーが、今たまたまなく嬉しいと心で喜びの雄叫びを上げ

ています。

今、肉を持つてこのように真実に触れるチャンスを用意してきた、自分にチャンスを与えたその思いに、私の心は触れています。ようやく今世真実に辿り着きました、私は喜びでした、私は温もりでした、その思いが心に広がっていくとき、本当に今世肉を頂いて生まれてきたことに代えるものは何もありません。

田池留吉を通して流れるアルバートの波動、私の心に真つ直ぐに届きます。意識達がすぐさま反応して私の肉はどこにもありません。心と心が反応し、ただ真つ直ぐにアルバートを呼んでいます。懺悔ざんげとともに沸き起こる喜びは、まさに私自身、アルバートを待つて待ち続けてきた私の心の叫びです。そんな自分自身を心で迎え入れるたびに、嬉しさが、喜びが広がっていきます。肉を持つてたことが嬉しい、本当に嬉しい、この肉は私であつて私でない、しかし、この肉にはただただありがとう、です。私は今、そのような気持ちです。

肉の世界から自分を見つめ、苦しみのた打ち回つてきた自分自身から、今世

やっとその肉の世界から離れて自分を見つめることができました。私は幸せな存在でした。

アルバートの波動が形となって現れてくる二五〇年後、私もまたひとつの肉を頂きます。ひとつの肉を頂くこと、それだけでもう充分幸せな私でした。

私もあなたもやがてその肉を離すときが必ずやってきます。肉をもらってきた私達には、それは避^さけて通れません。病気になり医学処置の結果、一時寿命が延びても、やがて時が来れば肉体細胞は朽ち果てていきます。

そういうことを見つめながら、あなたは学んでこられましたか。私はいつも「死」を心に留^とめながら学んできたように思います。もうひとつの私のテーマは「愛」でした。だから学びに触れたときからセミナーは、私の心をつかんで離しませんでした。ここに私が探し求めてきたものがある、その思いで私は自分なりにセミナーを消化してきました。

私は私の目で、耳で、そしてこの心で、しっかりした足取りで歩んできました

た。自分のエネルギーをセミナーに集中させてきた、決して生半可なお遊びではありませんでした。ふたつのテーマを何としてでも自分の中で消化していきたいという思いがありました。やがて、それが田池留吉の指し示す方向だと自分の中で確認があったのです。自分の心が叫びました。本当に嬉しかったです。長い転生を繰り返してきた心の歴史の中で、探し求めてきたものによく巡り会えた、その手ごたえは私の中で充分でした。

肉を離すとき、離れた後、その現実をしつかりと見据えながら、私はこれからも自分の確信した道、アルバートの道を一步、一歩歩んでいきます。それが自分が本当に望んできたこと、そう心で確認できたことが今はただ嬉しいです。

※アルバート

本文にも説明がありますが、アルバートとは、すべてを包み込む喜びのエネルギー、愛のエネルギーということです。そして、それは本当のあなたでもあるのです。

さて、本文はあたかも私がその方の身体を使つて書き記したもののようになつていきます。すなわちこの本は、この方の肉の思いは一切混ざることなく、私に心を合わせながら書き記されたものであるということです。また、この方は俗に言うところの私のゴーストライターではありません。同じ基盤に立ち、そこから心で感じている真実の世界を、このように一冊の本にまとめさせていだいたのです。

私達は「私はあなた、あなたは私」という意識の世界の真実、そして、その喜びを、このような形で残すことができたことが、ただただ喜びです。私達は二五〇年後の出会いを、ただただ喜びで待つ仲間です。ともに同じ方向を見つめ、ともに歩いていく喜び、幸せを、あなたもその心で感じていってくださいることを私達は待っています。

二〇〇四年十一月

田池留吉（一九二六年生）

意識の流れ

— アルバートとともに —

この本を手に取り、ページを開き、活字を目で追うあなたの心に、きっと何かが伝わっていくことを信じています。

ここに書かれているすべてを理解してもらおうとは思っていません。でも、その行為が、心に問いかけを持たれているあなた……、心の世界があると思っ
ているあなた……、あなたのその心に何かが伝わると私は心から信じていま
す。

今はまだ私とあなたを繋ぐものは何も存在していません。あなたは私を知らないし、私はあなたを知りません。でも、もしかしたらこの本を読み終える頃には、私とあなたを繋ぐものを、あなたは見つけるかもしれない。また今見
つからなくても、五年先、十年先、いえ、もっと先であなたは私と出会うかもし
れませんが。私はそのような思いで、これから先のページを埋めていきます。
まだ見ぬあなたに私は私の思いを込めて、ここに書き記したいと思っていま

す。

私の思いというのは、あなたにぜひ本当のことを知ってもらいたい、真実に
出会っていただきたいということなのです。

あなたは、今までにこの世のどこかに真実というものがあるのではないか、
今はまだ何か分からないけれど、絶対に変わることのない本当のことがあるの
ではないか、と考えてみたことはいませんか。

あなたは本当のことを知りたくはありませんか。本当のこととは何だと思
いますか。この本はそんなあなたに、あなたの心で答えてくれる一冊になっ
てくると、私は信じています。

私はこれまで約二十年にわたって、主にこの日本の国でセミナーを開かせて
いただきました。それはある年齢に達したとき、私はひとつの仕事をするため
に生まれてきたことが、自分の中で見えてきたからです。そして何らかの形で

私は自分の心で分かったことをお伝えしたい、また、お伝えすることが私の喜びであるという思いを強く持つようになりました。それがセミナーという形となって、約二十年間続けさせてもらったということです。私はお伝えすることが喜びという思いだけで今日まで存在してきましたし、これからも全く変わることはありません。

セミナーに私のすべてを注いできました。私にはセミナーで名を残そうとか、財を築こうとか、セミナーに集ってくる人々を救っていかうとか、そういう思いは一切ありませんでした。ただ私は喜びでセミナーを開かせてもらい、喜びでセミナーを閉じていくだけでした。

セミナーに集ってきた人達は私の肉声を通し、また印刷物を通し、一通りのことはすでにご承知です。しかし、そういった方々でも本当にお伝えしたいことを分かっていたかどうかのは難しいというのが、実際のところでした。それは本当のことはあなたの頭では理解できない、あなたの頭脳をはるかに超えたところに真実があるということが、なかなか理解してもらえなかったからです。頭

ではなく、知識としてではなく、自分の心で分かるということが分からない、難しかったということでしょう。それは私達人間は、五官、すなわち目、耳、鼻、舌、皮膚を通して感じる世界が本当の世界であると思い、今、目の前に広がっている形の世界に自分は生きていると思ってきたし、今も思っているからです。確かに目に見えて、耳で聞こえて、手に触れる物がある世界は実感がありません。だから、その世界こそが実在の世界であると信じて疑わない思いが、非常に強いのです。そして、その中で幸せになろう、喜びを見出そうと、それぞれが「人生」と呼ばれる時間の中で一生懸命生きています。その思い、その考えが根本的に間違っているということ、私は約二十年かけてセミナーに集ってくる方々に伝えてまいりました。

日常の中に喜びと幸せを見出そう、生きる生きがいを見つけ出そうと、一生懸命、真面目に生きていくことが間違っているではありません。そうではなく、真実を知らずに生きていくということが本来の生き方からずれているとい

うことです。だから一生懸命、真面目に人生を生きたとしても、その人生は本当にお粗末な人生でしかないということを、私は申してきました。そして、そのことをあなたの心で知っていただくいとお伝えしてきたのです。

家庭を築き、仕事をバリバリこなし、我が人生を謳歌おうかしているかのように見えていても、その人の心の世界を覗のぞいてみたら、さて本当に幸せであるのか、毎日を喜びで過ごせているのか、全く疑問です。なぜならば、その人達は自分がなぜ生まれてきたのか、どうして今そこに存在しているのか、そして、やがて自分が死を迎えたとき一体どこへ行くのだろうか、肉体の消滅とともに自分も消滅してしまうのだろうか、等々その問いかけに明確な答えを出せないからです。

生まれてきた意味も自分の本質も何も知らないまま、ただ時の流れの中で浮き沈みの人生を送られているに過ぎない、果たしてそれで幸せ、喜びの人生と言えるでしょうか。

身分、家柄、地位、名誉、財産、美貌びぼう、才能、幸せな家庭とやりがいのある

仕事、たとえば、これらのものすべてを兼ね備えていても、その人が真実を知らなければ、その人の一生は順風満帆じゅんぷうまんぱんの人生にはならないと私は断言できます。それらのものは、その人が真実と出会っていくために必要なものであるに過ぎないのであって、そういうことによつて人間の価値は決められないからです。この世のものをいくら手中に収めようとも、たったひとつの真実の前には何の役にも立たないということです。それらのものに生きる価値を見出そうとすることこそが間違いであるということが、分らなくなつてしまいました。

みんなが仲良く暮らし、みんなが幸せに豊かになるようにと思うことは、時代を超え、国境を越えても変わらない思いであり、願いであるはずです。しかし本当に私達は幸せで豊かになつたのでしょうか。確かに物質的には豊かになり便利になつたでしょう。でも何かがおかしい、どこかがおかしいと感じてきている方も少なからずいらっしゃると思います。ですが、そういう人達も何がおかしいのか、どこがおかしいのか、はつきりと分らない状態なのではないでしょうか。薄らぼんやり感じていることは、文化的、機能的で、利便的な生

活と引き換えに、「心」は貧しくなったのではないかというくらいのもです。毎日毎日、目まぐるしく流れている時間の中で、どこかおかしいと感じつつも立ち止まって考えてみる人など、ほとんどおられないのが現実だと思われます。そんな時間の余裕も心の余裕も持てないし、また、いくら考えてみても分からないというのが実情ではないでしょうか。

ところで、ここで「心」という言葉が出てきましたが、それでは一体「心」とは何なのでしょう。私達はよく心は大切だとか、心豊かにとか口にしています。世間には「心」を謳^{うた}う書物はたくさんあります。今は心の時代だとも言われています。いわゆる宗教の世界はみんな「心」を説いています。しかし、その「心」が分からなくなってしまったのが私達人間ではないでしょうかと、私はセミナーを通し、ずっと呼びかけてきたのです。

あなたは今、ひとつの肉体を持っています。その肉体があるから、あなたは確かに自分は生きていると思っておられます。しかし果たして本当にそうなの

でしょうか。肉体が生きているのではなく、「心」が生きていると考えられないでしょうか。また、生まれてきた人間は必ず死んでいきます。どなたにも死は訪れるのです。死はその肉体が消滅するときです。では死を迎えることによつて、あなたは自身は消滅すると思っておられますか。それとも霊や魂となつてさまよい続けていると思っておられるのでしょうか。肉体があなたなら、その肉体とともにあなたは消滅していくことでしょうか。でも、あなたがその「心」であるならどうなのでしょう。

その点について明確な解答を出せる人などいません。世間ではまことしやかに伝えられていますが、どの宗教書を紐解いてひもとみても肝心なところはぼやけているのです。なぜならば真実を知らないままずっと存在してきたのが、私達人間だからです。その肝心なことというのが、今まで誰も解明できなかったたたひとつの真実です。その真実に会ふことが、本当の人生を生きるということなのです。だから私は少なくともこの本を手にとつたあなたに、本当の人生を生きてもらいたい、そして、ありがとうと言ってその肉体を離していつでも

らいたい、そう思っています。

段々本論に入り始めましたが、ここでもう一度、あなたの日常に目を向けていきましよう。連日メディアを通してあなたの目に耳に飛び込んでくるものは、狂った人間社会をつぶさに示しているものだと思われませんか。人類がいかに墮落だらくしてしまったか、人間の愚かさを露呈ろていするニュースが続々報じられてきます。社会のひずみが陰湿いんしつな犯罪を生み出すことに拍車はくしゃをかけています。いじめも児童虐待じどうぎやくたいも、戦争、テロも狂っている人間社会を象徴しています。真実を知らない大人社会の暗い思いは、確実に若者達の世界にまで及んできました。現実社会から逃避とうひするために、酒、タバコ、麻薬等々に溺れおぼれ、まだ年齢は若くても身体はボロボロ、心も疲れ切っていて生気がない、そんな若者達が溢あふれ出しています。そんな社会現象の中で、心の底に眠っている闇のエネルギーが、大人の年齢に達しないうちに暴発していきます。犯罪の低年齢化です。そして、それはテレビ、雑誌等のマスコミを通して、ますますエスカレー

トしていく傾向にあります。大人達はなぜそういうことが起きるのか、どうしてということがはつきりと分らないのです。子供達の心は確実に荒^{すさ}んでいて、悲鳴を上げているにもかかわらず、真実を知らない大人は、自分達の乏しい経験や学識の中で色々と議論を交^かわしているだけです。そして、その解決方法は分からないまま、うやむやのうちに結局、時が流れていくだけなのです。

また、今はどこを向いても戦争です。家庭においては夫婦、親子、嫁姑、教育の場では受験戦争、職場では企業戦争、そして大きくは国と国、民族と民族、どちらも正義を振りかざし、自己を主張し合い、相手の息の根を止めるまで闘^{たたか}いは続いています。これからますます世の中の混乱の度合いは増していくことでしょう。この流れに歯止めはかけられません。

人類が真実に目覚めない限り、人類は救われません。神にも仏にも宇宙のパワーにも救う力などありません。では真実とは何か、人類が真実に目覚める時がやってくるのか、ということに話題は移っていきますが、その前にこれから先を読み進めていく上で、あなたにとってなじみがない「肉」という言葉が出

てきますので、ここで私は少し説明を加えさせていたきたいと思います。

あなたの肉体を含め五官を通して感じる世界を、ここでは「肉の世界」という表現を使っています。そして「肉のあなた」とは、その「肉の世界」に生きていると思っているあなたのことを指しています。

肉の世界は文字通り、目に見え、耳に聞こえますから実感があります。しかし実は目に見えない、耳にも聞こえないけれど、あなたの心で感じられる世界があるのです。その世界のことを意識、波動の世界と伝えていきます。そして、その意識の世界こそが実在する世界なのです。ここで意識の世界が本物で、肉の世界はその影の世界に過ぎないということを、頭の隅っこに入れておいてください。そして今、あなたは「肉のあなた」と「意識のあなた」を抱えていると考えておいてください。

ところで、あなたが生まれてこれまで知ってこられた世界は「肉の世界」です。あなたは目に見える世界、肉の世界を本物の世界だと思ってきたからこ

そ、そこに喜びと幸せを求め続けてこられたのです。すなわち「肉のあなた」ばかりを見つめてこられ、「意識のあなた」の存在を知らないでこられたのが、今現在のあなただということです。たったひとつの肉をご自分だと思つてこられたのです。

しかし、そのことが唯一の間違い、誤りであること、そこから思いを一八〇度変えない限り、真実の世界は見えてこないということを知っていただく。い。

さて、前書きが長くなりました。ここから本論とまいりましょう。本論とは次の一文です。

「私達は肉ではなく意識です。私達は意識、波動の世界に永遠に生き続ける命、エネルギーです」

これが私の人生すべてを懸けてお伝えしてきた真実です。たった二行の文章ですが、このことを私は頭ではなく、あなたの心で分かってくださいと申し上げ

げているのです。ただ、そう簡単には分かりません。分かってくださるには、まだまだたくさん時間を必要とすることでしょう。しかし、このことは必ずあなたの心で分かることです。そして、あなたの心で本当に分かっていったなら、あなたの物の見方、考え方、価値基準は全く変わっていきます。どう生きていけばいいのか、そして、どう死んでいけばいいのか、その思いが全く変わっていきます。そして、なぜ自分は今肉を持っているのかということが心に見えてきます。

肉の世界は、はかなく消え去る影の世界です。しかし、その世界を本物として生き続けてきたのが私達人類でありました。でも、それは間違いないのです。だから、その結果を私達は自ら受けていかなければなりません。それが宇宙の法であり、その法の中に生かされている愛そのものが私達であるからです。肉を本物として生き続けてきた人類は、愚かな生き物になり果ててしまいました。目先のことに心を振り回され、己の欲を満たし、自分の身を守り、自分を表していくこと、認めさせることに東奔西走する毎日を送っています。しかし

人類は自分達が愚かであるとは思っていません。人類は万物の霊長である、人類の智恵と勇氣を持つてすれば、この宇宙をも動かしていくことができる、と豪語しているのです。その驕り高ぶった欲望のエネルギーは、自らに返ってきます。それが宇宙のリズム、宇宙の法と合わないからです。私達もまた、その法の中に生かされていることを知っていかなければなりません。

私達人類は、すべての頂点に立つものとして、この地球はもとより宇宙をも我がものにしようと、真つ黒なエネルギーを垂れ流してきたのです。そのエネルギーの中で地球という星は、今や瀕死の状態です。そして、そのような中にありながらも、人類よ、目覚めなさいと私達に警告を発してくれています。それが地球上で起こっている天変地異であり、これから人類が体験していく未曾有の天変地異です。天変地異は神の怒りではありません。天変地異は喜びです。真実に目覚めゆくための喜びのエネルギーなのです。そして、その天変地異でしか人類が真実に目覚めゆく手段は残されていないということです。これが私達人類にとって最大かつ最終の愛なのです。

今、お伝えしていることは過去の文献にも記しるされていません。いまだかつて真実に出会えた肉の人間はいないからです。意識、波動の世界こそが真実の世界であり、それは人類の頭脳では計り知はかれない世界です。

過去、神、仏の世界、パワーの世界を説いてきた宗教者も、未知なる世界を探索してきた科学者も、みんな肉を本物とする基盤に立ち、真実を見極みきわめようとしてきました。しかし、それでは真実は見えてこないのです。その人達には自分の本質が分からなかったということでした。人間はどこから来てどこへ行くのか、自分の心で解き明かすことができませんでした。

そして今、間違った神、仏、パワー、宗教の世界を心に詰め込んできたあなた方に、このように一冊の本を介して真実を知っていただくさいと、私はお伝えしています。とは言っても、どこの馬の骨とも分からない私の伝えていることを、あなたはすぐには信じられないでしょう。しかし、このことはやがてあなたの心で証明されていきます。本当のあなたがあなたに伝えてきます。私

はそれを信じて待つてきましたし、これから待ち続けていくだけなのです。

そこで、今まで誰一人として私のお伝えしたいことを分かった人はいないのかというと、そうではありません。私はセミナーを通し、私のお伝えしたいことを証明してくれた、心で分かってくれた私の仲間と出会わせていただきました。だから今、私は最高に幸せな時を迎えています。我が人生万歳です。今世の仕事を終えて、意識の世界に戻る私は本当に幸せです。

私とあなたは必ず出会います。今世出会えなくても、私はそのことを信じています。肉のあなたはまだそのことに気付いていないでしょう。しかし、あなたの中の意識達が、もうその準備を始めています。だから今、あなたはこの本を手に取り読み進めているのです。

そうです、私達は二五〇年後に出会うのです。二五〇年後に私達が出会ってどうなるのか、二五〇年後の出会いには、あなたにとってどんな意味があるのかということとは、もう少し先でお話ししたいと思います。私はもうワクワクしな

がら、その時がやってくるのを待っています。どこで待っているのかというと、それはあなたの心の中で待っているのです。どうぞ、あなたも私の仲間になってください。永遠の未来を旅する私の友達になってください。

話を先へ進めましょう。私はこれから二五〇年後、アメリカのニューヨークというところに生まれてきます。その時の私の名前はアルバートと言います。えっ、そんなことどうして分かるのですか、そんなこと信じられない、と言われる方も、最初から話を否定しないで、もしかしたら、そんなこともあるかもしれないなあと思いつながらで結構です、私の話に耳を傾けてください。

私は今も申しましたように、自分の来世を知っています。と言っても、これは私だけではなく、あなたにだってちゃんと来世があります。来世だけではなく、過去に生まれてきたあなたもたくさんいます。そして今のあなたと過去のあなた、来世のあなたは別々の人間ではなく、どこかで繋が^{つな}がっているのです。

もちろん生まれてくる国によって肌の色も違うし、時代によって姿、形も違います。だから今のあなたと過去のあなた、来世のあなたは全く別人だ、自分と言えど私の名前はこれこれで、こんな顔をして、こんなスタイルをしているこの私だけだと、あなたは思っていることでしょう。でも、そうではありません。今の肉のあなたはすべてのあなたを代表して、そこに存在しているのです。すなわち、あなたはたくさんの自分自身を、その心で抱えながら存在しているというわけです。つまり今のあなたと過去のあなた、来世のあなたを繋^{つな}いでいるものは、あなたの「心」なのです。先ほども「心」ということに少し触れましたが、一口に「心」と言っても肉体を本物とするところからとらえると、それはその肉体の消滅とともに消えていくように思われます。しかし自分は永遠の中に生き続ける意識、エネルギーだという基準から見れば、その「心」という概念は全く違ってくるのです。肉にまつわる「心」ではなく、「心」は思い、エネルギーであること、よって「心」とはそれのみで存在し、しかも永遠のものであることが感じられると思います。

『過去と現在と未来を繋いでいるものは「心」、私は「心」として永遠の過去から永遠の未来へと生き続ける存在である』この真実が本当にあなたの心でお分かりになったら、今まであなたがとらえてきた周りの風景は、全然違ってくるのではないでしょうか。

心、エネルギーが自分ならば「なぜ私はこのように肉体をもらって生まれてきたのだろうか」

「この肉体がなくなっても私というものが存在しているならば、肉体がなくなつた後にも必要なことが、今、自分にとって必要なことではないだろうか」

「そうすれば、これから私はどう生きていけばいいのだろうか」

色々な問いかけが上がつてくるのではないのでしょうか。

なぜ生まれてきたのかということから始まって「今まで自分が正しいとしてきたものや選んできたものは、本当に正しくて、自分が心から望み選んできたものだっただろうか」

「私は自分の人生を本当に生きてきただろうか」

「この肉の私が本当の私でなかったなら、本当の私とはどんな私なのか」

今まで気にも留めなかつた事柄が次々と出てくるのではないでしょうか。残念ながら、それに確実に答えてくれる人は、あなたの周りには今現在おられないと思います。

しかしながら、それを知る手立てはありません。それはあなた自身が、あなたの心を見ていけばいいのです。

さて、そこで心を見えるということを初めて耳にされたあなたにとっては、それがどういふことなのか分らないと思います。心を見えるというのは日常のあなたの生活の中で、あなたが今何を思い、どんな思いを出しているかを、その都度、確認していくという作業です。あなたが語り、行動する背景には、あなたの思いがあるのです。何を語り、何をしたかを重視するのではなく、その時のあなた自身の思いを自分の心の中で追っていく作業が、心を見えるということです。

もう少し具体的な例を挙げてみましょう。

たとえば、あなたが人に何かを言われたとしましょう。あなたにとってそれが嫌なことであっても、いいことであっても、その相手の口を通して語られた言葉によって、あなたの心に何か動きがあります。いいことを聞かされたときは喜んでいたのに、同じ人から嫌なことを言われたら悲しくなったり、怒ったり、落ち込んだりしませんか。それは一体どういうことなのでしょう。相手の言葉や態度、あるいは目の前の出来事で自分の心が明るくなったり、暗く沈んでいたり、恐怖や疑い、憎悪の念を膨らませていたり、とにかく心はいつもいつも動いています。その動く心を丹念に辿^{たど}っていくと、私達はずっと相手の言葉や態度によって色々な思いを発してきたことが分かるはずです。そして嬉しいとか、苦しいとか、つらい、悲しい、寂しい等々を繰り返しながら時を過ごしてきた、言うなれば、私はそのような様々な思いとともにある、色々なことを思っている私がここにいる、ということが見えてくると思います。心を見ていくと、悲しんだり、落ち込んだり、相手を罵^{のの}ったり、そしてまた殺したいほど憎んだりする自分、相手を思い通りに動かそうとする自分が、はつき

りと見えてきます。

さらに相手がこう言ったから、こんな態度を示したから、こんな出来事に出くわしたから様々な思いが出てくると思ってきたけれども、本当はそうではないのかもしれないと思えてくるかもしれません。なぜならば相手が何も言わなくても、何もしなくても、自分の心は動いていると感じるからです。また同じような場面に出会っても、そこから感じる思いも、出している思いも、その時その時で違っているし、相手によっても違っていると気付きます。

それではその思いはどこから出てくるのか、なぜ出てくるのか、なぜ心はいつもいつもこんなに忙しく動いているのだろうか、心を見ていく習慣の中で、きつと色々なことが疑問として浮かび上がり、また色々な気付きもあると思います。

こうして日々、日常生活の中で動く心を見つめていくことも大切ですが、あなたの心がストレートに出る相手は、何と言ってもあなたを生んでくれた母親なのです。あなたの肉のお母さんには、あなたの思いがストレートに出てきま

す。あなたはあなたを生んでくれたお母さんを、今現在どう思われていますか。「お母さん」とあなたが心の中で呼んだとき、あなたの心に上がってくる思いはどんな思いでしょうか。それを正直に、ありのままにノートに書き綴る作業から、まず始めてみてください。自分を偽ることなく、飾ることなく思いを綴っていくことが大切です。

生まれて育ててもらった過程の中でお母さんに使ってきた心、長じて一社会人あるいは一家庭人となって母親に接したときに出てくる心、年若いいく母親に対して使っていく心、どんな時もあなたのお母さんはその肉を通し、あなたの心にある怒り、恨み、呪い、妬み、恐怖、寂しさ、悔しさ等々、様々な思いを引き出してくれているのです。それがお母さんという存在です。それは、あなたを生み育ててくれた肉のお母さんという存在をはるかに超えたもの、本当のお母さん、意識のお母さんという存在です。そして、その作業を重ねることによって、あなたを生んでくれた母親の思いというものに、あなたは触れていきます。

「お母さん、ありがとうございます。お母さん、私を生んでくださって本当にありがとうございます」この思いが、あなたの心からふつふつと沸き起こってくるのです。それが本当の人間の心だからです。それが本当のあなた自身だからです。

心を見るということは、あなたの中にあるたくさんの思いに気付くということです。あなたの周りに存在する人達、あなたの周りで起こる出来事、それらによってあなたの中にある思いが引き出されていきます。その思いこそが、あなた自身であるのです。あなたの心の中にあるから、その思いが引き出されてくるのです。すなわち母親を通し、また人と出会うことにより、そして様々な出来事に出会うことにより、実はあなたはあなた自身と出会っているのです。そういうことが心を見る作業を通し、自分の心で分かってきます。

相手を嫌い、蹴落^{けお}とし、憎む前に、あなたはあなたの心を見ていかなければ自分自身のエネルギーに翻弄^{ほんろう}され続けます。エネルギーに翻弄^{ほんろう}されて、自分が全く見えない状態に自らを落としていく結果となっていくきます。本当の自分を

知らないから、そんな自分を自分だと思ってしまうのです。自分が許せなくなったり、自分で自分が抑え切れなくなつて、どこかにそれをぶつけていつてしまつたり、肉はさらに混乱していきます。

しかし、あなたが心を見るといふことの大切さを知っていたなら、その荒れ狂うエネルギーの中においても、自分を取り戻していけるのです。やがて、あなたの中には限らない喜びと温もりが存在していることを、あなた自身が知っていきます。生んでもらつたこと、生まれてこれたことをただ喜ぶあなたに、あなたは出会つていけるのです。その過程を歩むことが本当の人生を生きるということだと、私は知つてほしいのです。

あなたは本当に人生を生きておられますか。あなたはなぜ生まれてきたのでしょうか。

不平不満、愚痴ぐちを並べ、泣き笑いの人生は本当の人生ではありません。人生、生きていれば色々ある、喜びも苦しみもあつて、それが人生だと思われていま

せんか。そうではありません。人生は喜びです。たとえ、あなたやあなたの家族が重い病を得られても、不慮ふりよの事故に遭われても、また生まれながらにして障害を持たれていても、それらはみんな喜びなのです。しかし形を見れば厳しく、喜びとしてはなかなか受け取れないでしょう。何が喜びなものか、私ほど不幸せな人間はいないと、社会を、環境を恨み、嘆きの時を過ごしていられるのが常でしょう。肉を本物として物事を見れば、そういった現象は真つ暗なものにしか映りません。実はその現象を通して、あなたの心の世界が映し出されているのですが、あなたの心は現象にばかりとらわれていきます。自分の心を見る習慣のない方は、心が外に、自分の外に向いていきます。だから、この苦しみから救ってほしい、何とかしてほしい、この苦しみさえなくなれば私は幸せになれると思っっているのです。自分を苦しめているのは重い病であり、不慮ふりよの事故であり、その他諸々の自分の肉にとって不都合な出来事だと思いうのです。そして自分の肉を、あるいは肉の心を救ってもらおうと、他力のエネルギーを求めています。それが他力信仰です。救ってください、助けてください

い、何とかしてください、その思いを出せば出すほど、苦しみの中に自ら埋没していつていることが分らないのです。

私達は苦しむために生まれてきたものではありません。それらの現象はあなたを苦しめるものではなく、あなたがあなた自身に送っているメッセージなのです。間違っていますよ、気付いてくださいと、あなたの心の中からのメッセージが、そのような形で出てきているだけなのです。だから形を見れば厳しいかもしれませんが、そこから流れてくる波動は喜びなのです。その現象を通して、心を中心に向けることと波動の世界を感じていくことを、あなた自身は学んでいくのです。

本当のあなたとは何ですか。

本当のあなたはその肉ではなく意識であると伝えました。本当のあなたは自身に出会うために、あなたは肉というものをお母さんからもらって生まれてくるのです。

本当のあなたは溢れるほどの優しさと、尽きることのない温もりの中に存在する喜びのエネルギーです。本当のあなたは永遠に存在します。あなたは外にパワーを求めなくても、あなた自身がパワー、あなたは真なるパワーの持ち主なのです。しかし、この本当の自分自身を知っていくということは簡単なことではありません。なぜならば、あなたの心の中には、自分は肉であるというところから作り出してきた様々な暗くて重いエネルギーが、たくさん詰め込まれているからです。あなたが過去より作ってきた、その真つ黒なあなた自身と出会っていくことから、本当の自分自身と出会う旅が始まるのです。それには心を見るということをおいて他にないということです。

「あなたの人生の目的は何ですか」と、私があなたにお聞きすれば、あなたはどのようにお答えになられますか。

何を成すために、あなたは今そこに存在しているのでしょいか。

お金を稼いだり、有名になるのが人生の目的でもなければ、人生の成功者に

なるためでもありません。先ほども申しましたように、過去よりあなたが作ってきた真つ黒なあなた自身と出会うために、人生という肉の時間があるので。そのためにあなたは会社を興おこしていくかもしれません。坂道を転ぶように転落の人生を歩むかもしれません。それは、みんなそれぞれが決めてきたシナリオであって、この世に名を残したから立派、社会から脱落したからどうかではありません。

いかに間違ってきた自分に気付いていけるか、苦しみのふちに沈んでいるたくさんの自分自身に真実を告げることができるといえるか、というのが人生の目的です。そして本当の人生を生きるということが心で分かっているならば、人生すべてが喜びであることが分かってきます。どんな状況にあらうとも、肉を持って真実に触れることができたならば、苦しみがみんなたちまちのうちに喜びへと変わっていく、人間本来の生き方、死に方が心で分かってくるからです。

ここまで読み進められてどうでしょうか。

今まで私がいくつかあなたに問いかけをしてきた事柄について、今どのような感想を持たれていますか。私がお伝えしていることは、あなたが今までよしとしてこられたものとは全く相反するものであり、そして異質なものだと思います。あなたも肯定しているこの世の常識を、私は否定していることになります。しかし疑いながらも、反発を覚えながらも、あなたを引き付けるものがここにあるのではないでしょうか。それは不思議でも何でもありません。あなたの中にいるたくさんのあなたは、みんな本当のことを知りたいと思っているからです。そのことを私は知っています。だから、あなたが今全面的に受け入れてくださらなくても、私はいつの日にか、あなたの心で分かってくださると信じられるのです。信じて待つていればいいことであり、そうすることが私の喜びなのです。

さて、話を元に戻しましょう。

人類の大きな間違いは宗教というものを生み出したことです。肉の自分達の

幸せと繁栄のために、神、仏に祈る、^{すが}縋る、^{まかふしぎ}摩訶不思議な力を求める、その思い、そのエネルギーは、破壊^{はかい}のエネルギーです。その実態を知らずにどんどんどんどん増幅していったのが、今現在の私達人類です。それは地球各地で起こっている戦争、テロにその姿が如実^{にょじつ}に示されています。聖戦とは名ばかり、どうして人と人が憎み合い、殺し合うのか、神の名のもとに闘^{たたか}いの真っ黒なエネルギーを垂^たれ流していることに、彼らは気付けないのです。

もちろん彼らだけではありません。真実を知らない人間は、己の欲とエゴと無知をむき出しにしているのです。表面は慈悲と愛の綺麗^{きれい}な言葉で飾り、敬虔^{けいけん}な態度を示し、正義を唱えても、そこから流れるものはすべてを破壊^{はかい}していくエネルギー、真っ黒なヘドロのような悪臭漂うエネルギーなのです。もちろんエネルギーだから仕事をしていきます。それがあちらこちらで勃発^{ぼつぱつ}する闘^{たたか}いであり、その他、気象にも作用します。そして、この地球上で起こる様々な事件、事故も、すべてその表れなのです。

人を救いゆくことが、心優しき慈愛に満ち溢れた行為でしょうか。困った人に救いの手を差し伸べることが、本当の優しさでしょうか。そういう行為をするのが間違いだと言っているのではなく、その行為をするときの自分自身の心を見てくださいと、私は言っているのです。

心を見ていけば分かります。どんなエネルギーがそこに働いているのか、どんなエネルギーと繋がっているのか、救ってください、救ってあげましょうと思いを広げていくことは、真実を知らないがゆえの愚かさです。誰も何もあなたを救うことなどできません。あなたはあなた自身で救っていくのです。あなたは愛だからです。愛は優しさです。愛は温もりです。みんなその心に愛をいっぱい持っているのです。その愛を知らずに存在してきただけのことです。

愛に目覚めゆくことが、あなた自身に目覚めゆくことです。愛はあなたの外にはありません。優しさも、温もりも、安らぎも、あなたの外にはないのです。人に優しさや温もり、安らぎを求めていけば裏切られるのは必至です。肉にはないからです。何度も何度も数え切れないほどの失敗を繰り返してきたこと

が、あなたの心の歴史を紐解けば分かります。肉に愛を求め、肉に喜びと幸せを求め、絶望のふちに沈んでいったたくさんの過去を、どの方も持っているのです。

それは神も同じです。過去に間違った神を求め、自分の思いを果たせなかった、自分の思いを聞き入れられなかった恨みつらみが、あなたの心の中には息づいています。

そして神とは崇め奉るもの、神とは恐れ多いもの、神とは人間をはるかに超越した存在である、その思いを今もあなたの心は引きずったままなのです。だから、あなたは今現在幸せではないのです。「いえ、私は幸せです」「私の人生は幸せな人生です」とおっしゃるかもしれません。しかし、あなたは本当の幸せと喜びを知りません。あなたが幸せだ、喜びだと感じているものは、吹けば飛ぶような薄っぺらなものではありません。そして、その幸せも喜びも、あなたがその肉を離すと同時に消滅してしまうものなのです。なぜならば、それはみんな肉にまつわる幸せと喜びだからです。

私があなたに本当に知っていてもraitaiのは、あなたがその肉を離れた後も、ずっと消えない幸せと喜びです。では、そういうことは可能なのかと言え、可能なのです。だから私は本当のことを知ってくださいと、私の生涯を懸けて伝えてきたのです。

あなたの心の中で、私達の思いを聞いてください、私達を助けてください、救ってくださいと、たくさんあなたの自身が生きています。それが病気とか、色々な出来事を通して表面化してくるのです。その時肉のあなたが、自分が生まれてきた意味も、目的も、自分という存在も知らなければ、外へ外へとそれらの現象を解決する方法のみを求めていきます。もちろん病気になれば医療の手助けを受けて、肉の身体を治なおしていくことは必要なことでしょう。その他、事態の改善に向けて肉を動かしていくことも必要かもしれません。しかし身体を治なおすとか、事をうまく収めるとかが最終目的ではありません。そういうことから自分の心を見て、自分の出してきた思いを確認していくこと、そこから自

分の間違いに気付いていくこと、そして、そんな自分自身を心で受け入れていくことが大切なのです。病気を治す^{なお}ため、事態をよくするために心を見ていくのではなく、心を見ることが目的なのです。そのために、あなたは病気というチャンスを自分に与えたり、その他、色々な不都合に出会っていくのです。すべては、あなたが自分で書いてきたシナリオの中のひとつに過ぎません。自分が自分に与えた課題なのです。しかし肉の自分を本物とする生き方の中では決してそうは思えません。今、悩み苦しんでいることの解決方法ばかりを探すのです。それを解決する方法はただひとつ、それは自分の心を見えるということです。

すなわち心を見ていかないう限り、根本的に解決しないということですが、それが分からないのです。

あなたの肉にとって不都合なこともみんなすべてよし、あなたにとってマイナスと思われることもみんなプラス、この図式が分かりますか。

マイナスは、いわゆる真実を知らないまま苦しんできたあなたです。今、ひとつの現象を通して、やっとマイナスのあなたが顔を出し、語り始めているのです。人を通して、出来事を通して、様々な苦しみをあなたにぶつけてくるのです。あなたはそこできつと右往左往することでしょう。表面上の事柄にとらわれて、その解決策に四苦八苦するかもしれません。肉のあなたはそうかもしれませんが。でも、そんな時ふと、あなたの心を覗^{のぞ}いてみてください。そして、その現象を思うのです。すなわち、ひとつの現象を形としてとらえるのではなく、波動として感じていくのです。きつと、あなたはそこから何かに気付いていかれることでしょう。目の前の出来事は大変な状態であつても、そこから感じられるものは限らない優しさではないでしょうか。

マイナスを得ることによって、あなたがそういうことに気付いていったならば、それらはみんなプラスに変わっていくことです。すなわちマイナスを得たことにより、今まで見えなかった世界が見えてくるのです。そうなれば最初はマイナスだと思っていたものが実はプラスであつた、私には必要なこと

であつたのだと、あなたの心で段々と分かつてくるはずです。

私はマイナスを克服しなさいと言っているではありません。世間ではよく「病氣と闘たたかう」とか「病氣に負けないで」とか言われていますが、その心はとても冷たい心です。己を全く知らない無知な人間だから、そういうことをやり続けているのです。病氣とは闘たたかうものでなく、受け入れていくものです。病を得たとき、あなたの肉体細胞に心を向けてみてください。あなたの肉体細胞からは、あなたを苦しめる思いは流れていません。あなたに間違いに気付いてほしい、あなたに優しい思いを流してほしい、肉体細胞はあなたにただそのことを告げているのです。

それは肉体細胞に限りません。人間以外の生きとし生けるものすべてから流れている波動は、優しさと温もりです。それは、それらがみんな真実を知っているからです。愛の中に生かされていることを知っているからです。人間だけが厳しくて、暗くて、冷たい波動を、この宇宙に流し続けてきました。だから、これから人類は未曾有みぞうの体験をして、自分達の間違いに気付いていくというこ

とです。

さて冒頭に、私はあるひとつの仕事をするために生まれてきたとありました。そうです、私はあなたの方が自分達の間違いに気付かれ、真実に目覚めていかれるために、今世こうして日本人というひとつの肉をもらって生まれてきました。その中で私自身も色々と学ばせてもらい、そして自分の心を見るところを通して、自分の心で分かってきたことがあったのです。私は、このことは決して片手間ではできないことであり、私のすべてを懸けてお伝えしたいと心から思いました。

今までたくさんの人達が、私の話を耳にしてくれました。心で感じ、心で証明してくれる方も出てまいりました。本当に嬉しい限りです。私は、そんな一人にあなたもなってもらえればと思うだけです。

皆さんにはたくさんのお去世、すなわち過去、転生を繰り返してきたたくさんのお歴史がその心の中に刻まれています。私は今世初めて肉を持たせてもら

いました。それは私が皆さんとは別格のものであるとか、私は大きな使命を持っていますとか、そういうことではありません。私自身も人生半ばまでは真実に疎く、それゆえ様々な悩み、苦しみの連続でした。私自身の肉の一生をここでお話することは省略させていただきますが、決して私は特別な人間ではないことだけは知っておいてください。

過去、聖人君子と呼ばれ、悟ったとされてきた方々は少なくありません。その方々は確かに真実を見極めようと修行を重ね、一応はそのような評価を得てきました。でも、その方達もまた真実とは何か、自分の本質とは何かを知らずに、肉を持ち、肉を捨てていっただけのことでした。その証拠に、いまだその方達は真つ暗な世界に沈み込んだままなのです。また、その方を師と仰ぎ、神と崇めてきた信者達も、同じ世界にともに落ちている、これが意識の世界の現実です。悟ったとされる方が、どうして苦しい世界の住人となっているのでしょうか。このことが嘘か本当かは、あなたの心で分かってください、あなたの心で分かることですよと、私は繰り返し繰り返しお話してまいりました。

眞実を知らない世界は、真つ黒な真つ暗な闇の世界です。もがき、喘^{あえ}ぎ、苦しみ、のた打ち回り、そして、やがて身動きさえできない重苦しい闇の奥底に沈み込んでいくのです。肉を本物とする人間達が、やがて自分の死を迎え、その肉体を捨てていったとき、帰っていくところはそんな世界です。

死んで地獄へ行くのではありません。今、あなたは地獄の住人なのです。ただ肉を持つているから、肉で覆^{おお}われているから分らないだけで、その肉を離せばあなたの心の世界、意識の世界はもろにあなたを覆^{おお}い尽くしていきます。すなわち、あなたが眞実の世界を知らなければ、肉を持つていても持つていなくても、生きていても死んでいても、地獄の中にあるということなのです。

何度も死んでは生まれ、生まれてはまた死んでいく、その繰り返しの中で眞実に目覚めるどころか、生まれてくるたびに心に重い荷物を背負い込んで死んでいったのが、私達人間でした。肉を持つてば肉の世界のことに心を紛^{まぎ}らわせていくことができます。そして酔^{すいせいむし}生夢死の中で蝶よ花よと夢うつつのうちに、肉

の時間はあつという間に過ぎ去っていくのが、ほとんどの方の人生ではないでしょうか。

しかし、そんなものは本当の人生ではありません。たとえば、あなたが人生を真面目に考え、一生懸命生きて、これこそ我が人生なりと満足の境地であったとしても、今現在、心のどこかに何か割り切れない、何かもやもやしたものはありませんか。なぜ生まれてきたのか、なぜ死んでいくのか、死ねばどこへ行くのか、決してあなたの心で解き明かせない疑問があるのではないでしょうか。

また人は誰しも一度や二度、自分の人生を振り返る時が必ず訪れます。それは自分の中からの気付き、促しうながの時です。もっとも気付きとか、促しうながとかに気付けない人がほとんどです。自分の中が苦しいと訴えている、叫んでいるのに、ほとんどの人がその声に耳を貸さない冷たい心に成り果ててしまったのです。しかし自分は冷たい人間だと思っていない、自分は一生懸命、真面目に生きていると思っているから、本当に人間は愚かといか言いがありません。

一度きりの人生だから、我が人生を大いに楽しみます。世のため、人のため、家族のため、そして会社のために骨身を削り、日夜努力しています。もう、こんな人生やめにしませんか。自分の人生は自分のために生きるのです。それが本当の人生です。自分のために生きるというのは、先ほどもありましたように、自分の中に生きていくさんの自分と出会っていくということです。中の意識達は、みんな助けを、救いを求めています。それはとりもおさず地獄に沈み込んできた、たくさんのあなたに他ならないのです。その自分を救っていくことが、あなたが肉を持つて、この世に生まれて、あなたが成していく唯一の仕事なのです。会社を興し会社を育てること、あるいは家族のために企業戦士となって働くこと、素晴らしい作品を残しここに我ありと名を残すことが、あなたの仕事ではありません。それらを通して自分の心を見ていくのです。みんな人生の目的が分からずに、目先のことに心を奪われ、せっかくもらった肉の時間を無為^{むい}に過ごしているのが現実です。

我が人生に悔いなし、本当にそうでしょうか。では、あなたの人生とは一体何なのでしょうか。あなたが死ぬその瞬間までが、あなたの人生なのでしょうか。

こういうことに、はっきりと答えてくれたものに、今まであなたは出会われましたか。確かに今の世の中、情報は豊富で処世術たぐいの類の書物は氾濫はんらんしています。また生きていくコツ、処世術はそれなりに人生経験を重ねていけば身に付きます。その道を極めた人のお話は参考にもなり、ときには深い感銘かんめいを受けられて、いい刺激を与えてくれると思われるかもしれません。しかし、それらはみんなある程度までで、それから先はありません。そこから真実に出会うということは決してありません。結局はみんな何も分らないまま、この世とたぐりゅういう濁流の中で浮き沈みしながら日々を過ごし、時が来ればその肉体を離していくだけのことです。そして、あなたを待っているのは、寂しくて、苦しくて、冷たい真つ暗な世界です。肉を自分だと思っっている意識は真つ逆様まつさかさまに落ちてい

きます。奈落ならくの底に沈み込んでいきます。実は肉を持っている時も、その世界に住んでいるのだけれども、肉というクツションで心を紛まぎらわせているだけのことであり、その肉を外はずしていったとき、すなわち肉がない状態になれば、その世界がもろに、そして鮮明に現れてくるということなのです。

誰一人例外もなく、死ねば自分一人の世界です。あなたの世界にはあなたしか存在しません。どんなに苦しくても、どんなに寂しくても、誰も何も答えてくれない、ただあなたがそこにあるだけなのです。その時、あなたは どうするのですか。この世のことなら色々な方法をもとに、それなりの結果が得られるかもしれません。しかし何もない、ただあなたの心があるだけで、しかもその世界は真つ暗な世界です。それがあなたの心を覆おおい尽くしていくのです。この世でどんなに頭脳明晰ずのうめいせきを誇った人も、何も分らない無知なまま、地獄の奥底に沈み込んでいくだけです。

だから私は、あなたが肉を持っている間に、心を見えるということを通して、地獄に落ちているたくさんの自分と対面してくださいと言っているのです。そ

して心だけになった自分自身に対して、本当のことを伝えられるあなたに蘇よみがえつてくださいと申し上げているのです。人に恵みを施したり、人の面倒を必要以上に見ていく余裕など、どこにも残されていません。自分の実態が心で分かったなら、あなたは必死で自分の心と向かい合うことでしょう。限られた肉の時間の中で、そうすることが最大の優しさだと分かってくるからです。そして、それは自分自身に対してだけ優しいのではなく、その優しさはあなたの周りにも波動となって流れていきます。その優しさはパワー、真のパワーだから本当の意味で人を癒いやしていくのです。

癒いやしの音楽、癒いやしの香り、昨今は癒いやしのブームですが、本当の癒いやしとはあなた自身のその心の中にあることを知っていただくさい。

自分を癒いやしていくのは、あなたの中の優しさと温もりです。あなたの心は誰も救えません。祈って、祭って、救われるものならば、地球人類はもうはるか昔に救われています。

いまだに闘たたかいの日々を費やしている愚かな人類です。真実が分からなくなっ

てしまった人類は狂っています。その狂ったエネルギーが、この地球上で色々な形となって現れてきているのです。もう、そのエネルギーは地球全土を覆い^{おお}尽くす勢いです。

これから人類は大変な時を迎えます。肉がすべてだと生きてきた人類にとっては、見るも無残な体験をしていきます。もう成す術^{すべ}もないほどの打撃をこの地球は受けていくことになるでしょう。みんな愚かな人類が自らに矢を射り、弓を引いてきた結果なのです。私はそのことを伝えにやってきたのです。

私は正しい、私は間違っていない、私は立派、そうやって生き続けてきた人類こそが一番愚か者であつたと気付いていく道筋を、肉を持った人間はこれから歩いていきます。自ら蘇^{よみがえ}るチャンスを与えていきます。なぜならば私達は愛だからです。その愛が天変地異を起こしていくのです。

その中で、人類の心が宗教というものを離れていくまで、決して人類は幸せになりません。自分達は初めから幸せであつたと分かるには、心の中に宿る神々を手放していかねければなりません。自分の外に作った神々には、あなた

を救う力などありません。支配と破壊のエネルギーを撒き散らして、ますます混乱の中へ突き落としていくブラックパワーに他ならないからです。そのブラックパワーと手を組み、己の欲望を膨らませ続けてきたのが、これまでの人類の姿でした。もちろん今もそうです。真実を知らない一人ひとりが宇宙に垂れ流しているエネルギーは膨大です。しかし、そのことに気付いていく、気付いていけるこれからののです。

自分が出してきたものは必ず自分に戻ってきます。これが宇宙の法です。

私達人間社会には一定のルールが存在してきました。やがて生命と財産を守るための法律が成立し、互いに互いを縛り合いながら秩序は保たれています。

それは時代により、国により異なり、決して不変のものではありません。

宇宙の法というものは、私達が言っている法とか秩序とかいう範疇のものではないことは、分かってもらえますでしょうか。それは、どんなに時が巡っても決して変わることのないもの、そして私達はその法の中でしか生きられないのです。それは、法とは私達自身だからです。法にずれた思いは、自分自身に

苦しみという形で返ってきます。

人生の苦しみは自らに与えていく喜びです。その苦しみを喜びとして受け取れる心、その心を養い育んでいくのが、あなたの人生なのです。苦しみを乗り越えるのではなく、苦しみとともに生きていけるその優しさと温もりが、あなたの中には溢れるほどあるということに気付かせてくれるのが、苦しみののです。

尽きることのない優しさと温もりの中にあなたは包まれています。そんなあなたが本当のあなた、その本当のあなたと出会うことが人生の目的です。

今まで肉を自分だと思い、肉の自分の幸せと喜びを最優先してきた生き方というものが、どれだけ無知な生き方か、どれだけずれた生き方か、段々と分かってこられたでしょうか。

しかし、どの生き方を選んでいくかということは、どこまでもあなたの自由です。そして、その結果もあなたのものであるです。私はお伝えしています。

自分が選んできた結果だけを見て、つらいとか、苦しいとか、悲しいとかを

訴えて、その原因となるものが自分の心にあることを横に置いておいて、人を責め、社会を呪っていくことが、どれだけ愚かであるか分かりますか。みんな様々な理由をつけて責任^{せきにん}転嫁していくのです。誰も自分の責任を取れない、それは本当のことを知らない無知な人間だからです。だからと言って、私は決してあなたに強制する思いはないのです。私の言うことを聞きなさいと上から物申しているとか、論^{さと}しているとかは一切ありません。

私はあなたの心で分かってくださいと、お伝えしているだけです。真実はこうですよ、これが本当のことですよ、私は皆さんの前に提示してきました。それを受けていくのは、すべてあなたの心次第なのです。この私の思いというものは一貫して変わりません。

そこで私は、あなた方のこの地球上での転生の時間を、一応、三億六千年と伝えてきました。数字のことは別として、それだけの長い間、肉の自分を自分だと思って存在し続けてこられたあなた方に、今世の僅^{わず}かな年数で、私のお伝

えすることを心で理解することは、甚だ困難なことだということも承知しておりました。だから私は何度も何度も繰り返し、毎回のセミナーで同じことを伝えてきました。もちろん私がこのような話を始めてから、私の周りにはいわゆる霊能者、チャネラーと呼ばれる方がたくさん出てこられました。その方々はチャネリングというを通して、どんどんどんどん意識の世界のことを語り始めました。それはセミナーが流れていく中での一過程でした。だから、そういうことを通して、意識の世界に触れていくという初期の目的は達成されたのです。そして、みんながセミナーとともに成長していくことが本筋でした。しかし、なかなかそうは行きませんでした。心を見ることが学びの中心課題であるにもかかわらず、チャネリングそのものが主体となっていたからです。チャネリングをするほうも受ける側も、ただ心を見るためにそういうことがなされているということが、いつの間にかぼやけてしまつて、チャネリングをつかみ、チャネラーをつかみ、実際は学びの本筋から大きくずれていった方が多かつたのです。そこに流れるものは、まさに教祖と信者のエネルギーでし

た。己一番と底なしの欲のエネルギーが渦巻いている中に、ともに落ちていったのです。いまだ、そこから抜け出せない方もいれば、自分の心を見て間違いに気付いていかれる方もありました。

様々な局面を迎えて開かせてもらったセミナーは、喜びのセミナーでした。私がお伝えすべきことは、すべてお伝えしてきました。後はそれを耳にした人が、実践を通して自分の心で分かってくだけのことです。

すべての方の心に真実があり、その真実そのものがあなた自身であることを私はお伝えしてきました。そして、この学びは今世から二五〇年後へと繋がっていくものなのです。今世だけで完結ではありません。だから、この本を手にとったあなたが、たとえセミナーに集っていないなくても、あなたの心に何かが響き、あなた自身の二五〇年後に繋いでもらえれば、それでいいのです。私はそのことを信じ、喜びで待ち続けています。

話を元に戻しましょう。ここで言うチャネラーでさえそんな状況でしたか

ら、巷^{ちまた}の靈能者、チャネラーと言われている方々は推^おして知るべしだということです。その方々は自分自身がどんなエネルギーと通じ合っているのか、全く知らない状態です。それにもかかわらず、その靈能現象を通して己を表しているだけのこと、いうなれば、そのチャネラー自身も操られているに過ぎない、全く無知であるということです。

救ってください、救ってあげましょう、教えてください、教えてあげましょう、これは全く間違っているのです。救いの手を差し伸べる、教^たえを垂れる、何か救世主^{きゅうせいしゅ}のようであって素晴らしいことのように映りますが、それは形から推^おし量^りっているからです。すべては波動の世界です。言葉や態度ではありません。どんなエネルギーと通じているかです。物事を言い当てるとか、不思議なパワーを感じるとか、オーラがあるとか、それらはみんなブラックの世界と通じています。だから、そういうところに心を向けていかれた方は、結局は哀れな末路^{たど}を辿^{たど}っていかれるのです。素晴らしい兆^{きざし}しが現れたかのように見えても、それはほんの一時です。そういうことが分からなくなってしまったのは、肉基

準の思いが根本にしっかりとあるからなのです。

何度も言います。真実はあなたの心で分かることなのです。あなたの外に真実はありません。あなたの外に救いを求めても、あなたは救われないのです。救われると思うそのあなたの心を見ていつてください。宗教では人は救えません。それは今の世の中を見渡せば一目瞭然いちもくりようぜんです。どうして今もなおこの地球の至るところで闘たたかいが繰り広げられているのでしょうか。人類の幸せと繁栄どころか、宗教を求めるエネルギーはすべてのものを破壊はかいし尽くしていきます。人類が祈れば祈るほど、祭れば祭るほどにブラックのエネルギーを垂たれ流していることを、やがて起こりくる宇宙的規模の天変地異が、人類の目の前に示してくれることでしょう。

ここで「死」ということに触れてみましょう。

あなたは自分の死をどのように受け止めておられますか。真っ直ぐに真正面から死と向き合えますか。死というものを忌いみ嫌い、自分の死を見つめていけ

ない心があるのではないでしょうか。まだ若いからそんなこと考えたことがないと言われる方も、死は突然にやってくるということが考えられませんか。また若いから死にたくないのではなく、年齢を重ねていてもその肉にしがみついている方はたくさんおられます。そして健やかに長寿であれば幸せだと思っています。死ぬまで元気で、死ぬ時は कोरोリ と逝きたいと、みんな願っています。みんな、その肉だけが自分だと思つて生きてこられた結果、その肉を離すことに恐怖の思いをしつかりと持っています。過去に何度も味わってきた恐怖が、あなたの心に記憶されているからです。だから若いうちはもちろんのこと、年齢を重ねても死と真向かいになれないのです。

ありがとう、心からその思いで自分の肉体細胞を思い、慈しみながら、その肉を離していく人は一体どれくらいいらっしゃるでしょうか。

ただ肉の命を永らえるために薬漬けの日々、それでもいつかは必ずやってくる死です。心に不安と恐怖の思いを抱え、最後に縋^{すが}るのは神、仏でしょうか。そんなことは空しい、哀れなことだと思いませんか。それよりもしっかりと

自分の歩いてきた人生を振り返る時間の中で、真実を知っていかれ、本当にありがとうございましたと、その肉を離していくことができたなら、どれほど幸せなことかと思われませんか。

あなたが生まれてきたのは偶然でもなく、必要があったからその今の肉をもらってきたのです。あなたが望んだ環境、その他すべてを選んで今のあなたがそこにいるのです。真実を知らずに、また、あなたは今世もその肉の人生を閉じていくのでしょうか。

あなたがこの本を手に取りられたということは、大きなチャンスだと私は思っています。私がお伝えしてきたことは終始一貫しております。変わりません。私がお話ししてきたことは、たくさんの資料として残されていますが、今この一冊の本に私自身の思いを書き記す^{しる}ことができ、私は喜びです。色々と説明を加えながら、伝えたいことをこのように文字にしています。私の本当にお伝えしたいことは、この本から流れる波動です。あなたにはその波動が感じられ

ますか。私の喜びの思いがあなたの心に届いていますでしょうか。ただの文字の羅列^{られつ}ではなく、どうぞ、あなたの心で感じていってください。

生きとし生けるものすべてから波動が流れています。その波動の世界を心で感じていくことこそが、真実を知っていくことなのです。波動の世界こそが真実を物語ります。波動の世界の中にしか真実はありません。肉を持つ人間の心の中には、すさまじいエネルギー^{ちくせき}が蓄積^{ちくせき}されてきました。肉を本物とするエネルギー^{はかい}は、すべてを破壊^{はかい}し、支配するエネルギー、ブラツクのエネルギーです。私は優しい、私は立派、そんな人は一人もおりません。本当の優しさが分からなくなった、本当の幸せも喜びも見えなくなった、無知とエゴと欲の渦巻くエネルギーの中で、何も分からなくなってしまったのが肉の人間の姿です。

万物の霊長どころか、もっとも最低最悪、悪臭^まを撒き散らしているのが人類だと言っても言い過ぎではありません。

しかし、また一方で本当に墮落^{だらく}の^{いっ}途^とを辿^{たど}ってきた人類の歴史の中で、よう

やくその間違いに気付いていく計^{はか}らいの中に、自らを誘^{いざな}っているのが人類なのです。もちろん、その道は険しいです。これからその気付きの何を何度もうも体験していきます。

もう、この流れは変えることはできません。止めることもできません。その流れは、宇宙の法の中に存在する意識達の喜びが、どんどん気付きを、促^{うなが}しを与えていくという流れです。私達人類の頭脳をいくら集積しようとも、この流れは厳然^{げんぜん}として流れているのです。流れに逆らえば逆らうほど、それは正確に自分達に返ってきます。そして人類は自分達の愚かさというか、肉の世界の小ささに気付いていくようになっていくのです。

私達は二五〇年後に出会うということを書いてきましたが、そうです、確かにその出会いはあるでしょう。今よりも、もっと地球環境は変貌^{へんぼう}を遂^とげていますが、その中で私達の出会いは用意されています。それが意識の流れであり、私もあなたもその流れの中に存在しているからなのです。

これから二五〇年かけて、すべては喜びの世界であり私達は喜びの存在でし

たと、心で分かれる方から流れる波動は、この地球に留^{とど}まることなく全宇宙に流れていきます。その波動、そのエネルギーは、肉を持つ、肉を持たないにかかわらず、大いなる目覚めを促^{うなが}していきます。

その中で私とあなたとの出会いがあるというわけです。

あなたは、その心の中に数限りないあなた自身を抱えています。みんな真実を知らなかったために苦しんで苦しんできた意識です。今もお、あなたの心の中に生き続けている意識達の存在を、心を見ろという作業を通してあなた自身が知っていく時間が、これからの二五〇年です。

その間に、あなたは一体何度転生の機会を持たれるでしょうか。生まれてすぐに天変地異に遭われて、その命を捨てる時もあるでしょう。肉が生き永らえることにより、苦難の道を歩まれることもあるでしょう。そういうことを経て、あなた自身が真実に出会うための計^{はか}らいを自分自身に与えていきます。たとえば、この本を手にする、本を開く、読み進めるという行為も、その一端で

す。

私はこの本を通して、今、あなたの中の意識達に呼びかけているのです。どうぞ真実に目覚めてくださいと、あなたは愛の中に生かされている愛そのものですよと、私の思いはきつとあなたの心の奥深くに届いていくことでしよう。私はそれを信じて待ち続けています。

私は今、日本人として肉を持っています。しかし私の本当の姿は意識、波動なのです。それはあなたも同様です。

私は今、肉の私としてではなく、意識、波動の私が、あなたの心の中でこのように呼びかけています。そうです、その私とは本当のあなた自身です。本当のあなたが、肉が自分だと思っているあなたに呼びかけているということです。

肉の世界では、私の肉とあなたの肉は別個のものであるし、互いに今現在どんな肉であるのかも知りません。しかし意識の私達はひとつなのです。私とあ

なたの区別も、境目ありません。私は今、肉を持ちながらそのことをよく知っています。一方、あなたは肉の自分だけを自分だと思ってこられた、自分と自分以外をしつかりと認識してこられたのです。だから私の呼びかけにすぐにあなたが反応するとは思いませんが、静かに自分の思いの世界、心の世界を辿^{たど}っていけば、きっと私の存在というものが感じられることでしょう。

本来は私とあなたはひとつの世界にありました。しかし、あなたは肉が自分だと思った瞬間から、私を心から離していきました。あなたが私から離れていったのです。

あなたは本当の自分を捨てて、偽物の自分をずっと心に握^{にぎ}り締^しめて存在し続けてこられたのです。今ようやく、それが間違いですよという気付きのチャンスを自らに与えているのです。本来の自分に戻っていかう、帰りたいと切実に願ってこられた思いが、あなたに今世の肉を持たせました。そして、ある方々はセミナーに集われ、またある方々はこの一冊の本との出会いにより、真実を知るチャンスを自ら作ってきたということです。

すべてはあなたの中からの促し^{うなが}です。それを信じていこうとするのもあなたなら、こんなものと捨て去っていくのも、またあなたです。これが本当のことであるのかどうか、人に聞いても分かりません。ただひとつ分かる方法は、あなたが自分の心を見ていく作業を進めていくことです。なぜならば、あなたはその心の奥底に真実を知っているからです。その作業の中で、何かあなたの心にコツンと突き当たるもの、手ごたえがあるはずです。しかし、それでもまだはっきりと分からないかもしれません。分からないながらも、あなたはここに書かれているどこかの文章、言葉が、あなたの心に引かかるというか残っていくと思います。そしていつの日にか、またそこへ戻ってくることだろうと私は思います。それでいいのです。その時、あなたの心が何かを感じ、そして、それからどんどん心で分かってくると思っています。

要するに真実はあなたの心でしか分からない、そして、あなたの心で必ず分かる、これが私の一貫した思いです。

だから私は来るものは拒まず、去るものは追わずということをやってきました

た。というのも真実をお伝えすることが私の喜びであり、それ以外の思いは全くないからです。肉の私はどこにでもいる平凡な日本人です。肉はそれではないのです。肉の私には何の力もありません。だから私があなたにパワーを授けるとか、あなたを苦境から救い出すとか、もし、あなたがそういうことを期待されているのならば、私とあなたには接点がありません。あなたの欲の思いと私の思いは全く相反するもの、全く合わないものなのです。

私がお伝えしてきたことは、確かに肉を持つ人間には難しいことだと思えます。現に肉の生活があり、社会もそのように流れています。その中で肉の枠からご自分を解き放つということは、本当に心で感じてこななければ、決して簡単なことではありません。目で見える世界のほうが実感があるから、目に見えない世界を信じることは極めて難しいということです。それでも私はこれからも伝え続けます。

宇宙の法、意識の流れは厳然^{げんぜん}としてあり、今、まさに肉から意識への転回期

にある私達です。これはすでにお伝えしている通り、これから二五〇年、三〇〇年をかけて宇宙的規模の天変地異とともに、私達が歩んでいく道筋なのです。

だから私はこうして今肉を頂いて、三次元にいるあなた方に伝えにきたという事です。

そして、この肉から意識への転回は確かに難しいことですが、私がお伝えしてきたことを心で分かる方が絶対に出てこられるという確信は、私の中にありました。すなわち私は意識の目覚めを待ち続けていたのです。そして予定通りにそういう方と出会わせていただいて、私は心より感謝しております。今世はそれでよかったのです。一人が二五〇年後に心を繋ぐ^{つな}ということが、どれほどの喜びであるのかは、これから人類はつづさにその現実を見ていくことでしよう。

もし今世の私がこの世で言うところの肩書きがあり、有名人であったりすれば、もっとたくさんの方が集ったかもしれません。あるいはバックに大きなス

ボンサーがついていて、その財力で人を集め、講演会と称してこういうお話をすれば、もっとたくさんの人に広まっていったかもしれない。しかし私には金集めも、人集めも必要がありませんでした。今世の私の目的はそうではありませんでした。今世は意識の目覚めが必要だったのです。心を二五〇年後に繋ぐということが最重要課題でした。だから人をたくさん集め、セミナーを大きくしていくことは必要なかったのです。ただ心で分かる方の出現を、私は待ち続けてきました。そして、その目的が達成されたのですから、私はどれほど喜びであるか、本当に感謝に堪えません。心からありがとう、ありがとうの思いでいっぱいです。今世の私は地位も、名誉も、財産も、取り立てて言うほどのものは何もなく、どこにでもいる普通の日本人という肉を選んできました。そして私がお伝えしたいことを心で分かってくれる方との出会いをひたすら待ち続けながら、セミナーを開かせていただきました。今はただただ嬉しいだけです。

さて、今の世の中はと言うと、今はお金中心の世の中です。

お金さえあれば何でも買える、どこへでも行ける、おいしいものを食べることもができる、何でも好きなことができる、だから私は幸せ、そんな短絡的たんらくてきな思考が決しておかしいとは思えない心の貧しい人間が、満ち溢あふれています。ですが、みんな心が貧しいとは思っていません。働く時は働き、そして遊ぶ時は遊ぶ、私は大いに人生を楽しんでいます、案外そういう方は多いことでしょう。そうすることがいいことだと思っている、そうできる自分は幸せ者だと思っています。そして教養を身につけ、豊かに暮らしている私は立派でしょう、私は幸せでしょうと、一生懸命外に向かって自分が幸せだということを主張しているのです。そう言っている自分の心を覗のぞけば、決してそうではないことが分かるはずですが、もう心の隅々までお金というものに汚染されてしまっているから、そこから自分を解放していくことは難しくなりました。お金を稼ぐ人は偉い人、この世の成功者、世の中の流れは今どんどんその方向に流れていっています。お金には魔力がある、黒のものも白になる、この世はまさしく

金次第、この風潮は今後もますます強まっていくことでしょう。お金によって人々は狂っていったのです。だから金額の多寡たかにかかわらず、人を殺すことなど日常茶飯事に起こってきます。今やお金に対する欲の思いは天井知らずの勢いです。

そんな中に私達は今肉を持って、肉の生活を送っているということを知っていかなければなりません。

そうです、この世はまさに濁流だくりゅうなのです。しかし濁流だくりゅうを濁流だくりゅうと思っていない人がほとんどです。それが人間の悲劇と言えましょうが、心で気付いた方々から本当の人間としての喜び、幸せの道を歩いていってほしいと私は思います。

もちろん肉を維持していくためには今の世の中、お金は必要です。色々な物、様々なサービスは貨幣かへいという一定の基準に換算されています。だから、それらを手にするためには換算されたお金と交換しなければなりません。それが人間社会が作り出した経済社会です。ただ、それだけのことです。にもかかわ

らず、お金というものに振り回されて、自分が見えなくなってしまう愚かな人間が増え続けています。無知なままに肉をもらい、肉を捨てていく人間ほど哀れなものはないと、私は思っています。

何が喜びで、何が幸せか分からなくなってしまった肉の人間、すなわち肉を自分だと思ってきた意識、地獄のふちに沈み込んでしまっていた意識、その意識達が今世の時間と空間を自らに与え、真実に目覚めていこうと、その肉を持つてきたのです。特に今世セミナーに集われた方々は、その思いが非常に強いのです。この本を手にとられた方々も、ご同様だと思います。ご自身に自覚があるかないかは別として、その意識の流れの中で肉を持たれてきたということです。

私達はみんながみんなすべて間違ってきました。その間違ってきたことに出会うことにより、真実の道が開けていくという道筋がそれぞれにあるのです。だから、あなたの今世の人生は苦しかったはずです。その苦しみから自分自身を解き放していこうと、あなた自身が強い決意のもとに肉をもらわれたこと

を、どうぞ心を見る作業を通し、あなたの心で思い出していつてください。

人生は喜びです。生まれてくるということは喜びなのです。そのことに一日も早く心で気付かれることを、私は待ち続けています。

真実はあなたの心の中にあると、私は申してきました。あなたが本当に自分の人生を真剣に考えるなら、自分がなぜ生まれてきたのか、何のために生まれてきたのか、まず、その疑問が心に浮かび上がってくると思います。

そして生まれて死んでいく中で、人それぞれ様々な人生模様が描かれていきます。では幸せ、不幸せとは一体何でしょうか。何をもって自分は幸せであるとか、不幸せであるとかを言っているのでしょうか。

私は、心を見るということを知らない人はみんな決して幸せになれない、いえ、幸せが分らないと思っています。その方々は自分が初めから幸せな存在であることに気付けないからです。生まれてくること、お母さんから肉をもらうということ、それがどれだけ幸せであるのか、心を見ることを知らない人には分かるがありません。そして幸せが分からない人達が集って、幸せにな

ろう、幸せになりたい、幸せにしてやろう、とやっているのです。甘い言葉に乗せられて欲と欲が引つ付いていきます。男と女の世界もそうでしょうし、宗教の世界もそうです。そこに渦巻く欲の世界は、ドロドロのヘドロで覆い尽くされた世界です。悪臭が、死臭が立ち込めている世界です。どんなに外見を綺麗に装つても、繕つても、その方々から流れる波動の世界が物語っています。そんな悪臭プンプンの波動を流されている人が幸せになれるわけがありません。でも世間ではそれが通用するのです。お金があつて、教養があつて、美貌があつて、何不自由ない生活があつてとくれば、何と幸せな人だろうか、私もその人にあやかつて幸せになりたいと、欲ばけの人間が群がってくるのです。そうやって、みんな何も分からずに濁流の渦の中に飲み込まれていきます。その中で、こうして本当のことに巡り会ったあなたには、そんな愚かな生き方の流れを、ぜひ今世こそ自分の中で変えてもらいたいと、私は思っています。濁流に流されながら実は流されていない、そんな生き方をしていつてほしいと、私は思うのです。

確かに難しいです。でも、それはあなたの心の中に過去より積み重ねてきた心癖、他力の心癖が根を張っているから、あなた自身難しいと思っただけなのです。その心癖を少しずつ弱めていったとき、ああ、私は間違ってきましたと心の底から懺悔さんげの思いが出てきます。自分自身に申し訳ありませんでした、お母さんごめんなさいの思いが噴き出てくるのです。懺悔さんげは喜びです。止めどもなく溢あふれてくる喜びです。どれだけ間違い続けてきても、今確かにここにこうして存在を許されていることが嬉しくて、ありがたくて、もう何も要らない、誰も必要としない、私はこの心からの思いがあればもう何も要りません、となってきます。本当にそのような思いがふつふつと沸き出てくるのです。そのような心の体験をしていけば、あなた自身の物の見方、考え方、価値基準は全く変わることでしよう。

ところで今、他力という言葉が出てきましたが、他力とは肉を本物とするところから発せられる思いすべてを指します。通常、自力と他力という組み合わせで用いられていますが、ここで言う他力はそれとは違います。

すなわち肉の喜びと幸せ、繁栄を願い求めていく心、その心が他力の心です。今この世に存在する宗教はみんなそうでしょう。あなたに肉の喜びと幸せを与えましょう、授けましようとするのが、他力信仰の世界です。だから他力信仰は間違いないのです。

自分を肉だと思って、その肉を、この心を、助けてください、救ってください、何とかしてください、パワーを下さい、私に喜びと幸せを下さいと、祈り、祭り、^{すが}縫っていく他力信仰は暗い暗い真つ暗な世界です。

ご自身の心が敏感であるならば、その他力信仰で祭られている神々、あるいはそこで崇め奉^{あがたてまつ}られている教祖のほうに心を向けられたらいいのです。あなたの心で感じられるはずですよ。どんな世界が心に伝わってきますか。穏やかで、安らかで、幸せな世界ですか。絶対そんなことはありません。

あなたが自分の心を見ていったとき、ずっとその他力の中で生き続けてきたことが分かってくると思います。肉として生まれ、肉を自分だと思って生きてきた心、それはもう気の遠くなるほど、あなたの心の中に詰め込ま

れています。そしてまた、肉として死んでいった過去のあなたがごまんといま
す。あなたはご自分をその肉だと思つてこられたから、自分の外にパワーを、
力を求めてきたのです。本当のあなたというものをあなたは知らないまま今に
至っています。もし、あなた自身、その心で自分の姿を知つていったなら、も
うそんなバカげたことはなさらないでしょう。自分の中に自分を救つていく真
のパワーがあることを、心ではつきりと感じられるからです。私はそのことを
言っているのです。あなたは、あなたが今考えておられるようなちっぽけな存
在ではありませんよと、私はお伝えしているのです。

嬉しいですよ、あなたが自分の本当の姿をその心で知つていかれたなら、あ
なたの人生観は一八〇度変わっていくことでしょう。私はそのような方が一人
また一人と出てこられることを、ただ信じて待ち続けています。

本当の喜びと幸せをその心で知つて肉の人生を終えていかれることが、どれ
だけ幸せなことなのか、どれだけ自分自身に優しいことなのか、あなたの心で
知つていつてほしい、私の思いはそこにあります。

真実をお伝えするために、今世初めて肉を持つてきた私です。もちろん私も母のお腹なかを通して生まれてから約五十年は、間違いだらけの人生を歩いてきたのです。それから約十年、心を見えるという作業を通し、試行錯誤しこうさくごを重ねながら、ようやく自分の心で感じていることが真実である、これこそが唯一の真実の世界であることに到達しました。そして、それからの約二十年間、私はセミナーを通し、自分自身もまた成長していきました。セミナーが私を育ててくれたのです。

今世ひとつの肉をもらってきた私です。その私の世界、波動の世界に、あなたとともに心を合わせていってください。あなたの心で真実の世界を感じてみてください。私は最初からそのように皆さんにお伝えしてきました。

心を見る作業の中心柱は「母親の反省」と「他力の反省」です。他力の神々に救いを、パワーを求めてきた心そのままを、あなたは今世の母親に使ってきたのです。それは二つ並行して反省を進めていけば分かります。母親に使って

きた心と、他力の神々を求め続けてきた心は、その根っこが同じなのです。

そして肉のお母さんがどうか、あなたが生まれてきた環境がどうかでは
ありません。あなたはその母親を選び、その環境を自ら設定してこの世に肉を
持つてこられたのでした。全部、自分がお膳^{ぜんだ}立てした道筋です。その中で真実
に目覚めるというか、本当の世界と出会っていく計画を、ご自分で立ててこら
れたのです。今、あなたがどんなに苦しい状況の中に肉を持っていても、それ
らはみんな自分で選んできたものなのです。だから誰を恨むこともいらない、
誰と比較することもいらないということです。比較競争、呪いと恨みの中で存
在してきたあなた自身を、あなたは本当は自由にしてやりたいと思っていま
す。しかし、その手立てが分からなかったということです。

どうぞ真っ直ぐに自分の心を見ていってください。自分の心の声を、叫びを
聞いていってください。そして苦しんでいるのが本当の自分ではなく、私は喜
びであったと気付いていけるように、様々なシナリオを自分に書いてきたのだ
ということを、その心で分かってください。

そのことが自分の心で分かってこない限り、今世もまたあなたの人生は失敗です。たとえば、どんなに富を築き、名声を得ようとも、あなたの人生は失敗なのです。自分は何を間違ってきたのか、なぜ間違ってきたのかという心を心で気付けないければ、地獄から生まれてきて地獄に帰っていくあなたの転生は、これからも永遠に続いていくことでしょう。

しかし、それではその循環がこれからも永遠に続いていくのかというと、ここに意識の流れというものがあるとしてあるということをお伝えしておきます。そして、そのことはあなた自身、これからまずその肉を通し、肉で知っていき、やがてその心で知っていくことになるでしょう。肉の力をいくら駆使しようとも、どうにもならない状況に出会っていくのです。これから二五〇年の間にそれが顕著けんちょになってきます。

真実に目覚めた意識達から流れる喜びのエネルギーは、これから仕事をしてまいります。そんな中で二五〇年後、再び肉を持って私達は出会っていくので

す。それから約五十年かけて、私達はさらに意識の転回を果たしてまいります。すなわち次元移行です。今、この地球上は縦、横、高さの三次元の世界です。三次元の世界の中で、私達は地球という星に適合する肉というものを持ってきました。人類は、長い歴史の中で数え切れないほどの転生を繰り返し、真実を探し求め続けてきました。そして、この三次元での修行を一応終え、全く肉を持たない、いわゆる次元の違う世界へ移行していくのです。これが私達がお伝えしている意識の流れなのです。その流れの中で私達は肉を持って、今、出会っているということです。

もちろん二五〇年後の地球はこれから度重なる天変地異を受けて、その様子は一変しています。山が割れ、島が沈み、今までもそうであったように世界地図は大きく変わっていることでしょう。そのような中で人類は自分達の心の中にある神々を、否が応でも捨てる時がやってきます。他力の神々には私達を救う力などない、自分達がどれほど愚かであったか、本当の自分の存在によりやくにして気付いていける道筋を辿っていくのです。

懺悔さんげです。懺悔さんげの喜びのエネルギーが心に真っ直ぐに届きます。それはどれだけ間違い続けても、許されて許されて生かされていた、愛されて愛されてきた自分達であつたという喜びです。すべてを捨て去ることが喜びでした。そして、すべてを捨て去った後に残るものがある、この心に真実があつたと心に感じた瞬間、その瞬間こそが人類が本当に蘇よみがえる時なのです。

私は預言者ではありません。そのような低次元から、私は今、語っているのではありません。真実の世界から私は真実を告げにやってきた意識です。そして今世は二五〇年後におけるところの準備段階、予行演習の時間です。

私は今世の自分の仕事をきちんと終えて、この世を去ります。一旦、肉の姿を消します。そして二五〇年後に私は再び生まれてきます。先にお伝えしたように私の名前はアルバート、今度は私は大きな財力を背景に生まれてきます。その財力をフルに活用して、この真実の道を広めてまいります。もちろん、その時も私の心の中には、それによってさらに名声を得るとか、巨万の富を得る

とか、そういう思いなど微塵みじんもないということだけは知っておいてください。

肉的な環境はすべて整えられているところに、私は今世と違い、心が敏感な状態の肉を持って生まれてきます。心に色々なものを感じて、肉的にはどこか憂うれいを漂わせ、何かを探し求めている青年です。それがある日突然、まさに一瞬の出会いにより私は自分の心を開いていくのです。そのことにより私の生まれてきた意味も、それから成していくことも、すべて一瞬のうちに自分の心に蘇よみがえってきます。すなわち、今世の学習で心の体験を経た私の仲間達の出現により、私もまたこの心にすべてを蘇よみがえらせていくのです。その方との劇的な出会いは一瞬のうちに喜びの波動となつて、全世界、そして全宇宙に流れていきます。そうです、全宇宙に流れていくのです。

その時は、今と比較できないほどメディアの分野は進んでいることでしょう。従つてそのメディアを通して全世界に広まっていき、そこで心の窓を開かれる人達もあることでしょう。

二五〇年後は三次元最終の時であり、今世の学習がありますから、私達は短

時間のうちに真実に目覚めていくということです。もちろん、その頃はUFOというものは日常茶飯事の現象となっています。UFOの存在は、私達には欠かせない存在となっていることでしょう。そのことは私達がどこからこの地球にやってきたのかということと併せて、あなたの心で分かってきます。そうです、UFOは私達の仲間なのです。

全宇宙に存在する意識達、肉を持つ、肉を持たないにかかわらず、すべての意識達とともに私達は三次元から四次元へと次元を超えてまいります。

このことは、あなたの心が敏感になってくれば、自分自身の心で分かることなのです。そうなれば私達にはこの地球上での転生以前の心の歴史があることも、また、あなたは思い出してくることでしょう。

あなたの心の中には、広い広い無限大に広がっている宇宙が存在します。あなたはその無限大に広がる宇宙そのもののなのです。その宇宙とともに私達は次元移行をしていくのです。それが、これからの二五〇年後の劇的な出会いから、約五十年かけて私達が成していくことです。それが厳然^{げんぜん}としてある意識の

流れなのです。その流れの中にある私達であるということを、私はあなた方に告げにきたのです。そして、そのことにいち早く心で気付かれた方との出会いが今世ありました。すなわち意識の目覚めです。

そしてこのことは、やがてあなたもこれから何度かの転生を経られて、自分の心で感じられる時がやってくるということを、私はここで伝えさせてもらっておきます。

今までざっとかいつまんで思いつくまま話を進めてきました。

今、あなたはどのような感想を持たれているでしょうか。なるほどと納得する箇所もあるでしょうが、^{かしよ}しかし全体的には分かったような分からないような感覚でおられると思います。

そうです、その通りです。すべてはあなたの心で感じていく世界のことですし、このことをあなたの心で感じて分かっていくには、これからの時を待たなければならぬと私は思っています。

先ほどから二五〇年後の来世とか、宇宙、あるいはUFO、次元移行とかいう非日常的な話題になってきましたが、ここでまた私達の日常生活に思いを向けてみましょう。

あなたが今、どのような場所で、どんな家族を持たれ、あるいはどのような人間関係の中で日々を過ごされているか千差万別ですが、今現在どうでしょうか、あなたご自身幸せですか。では、あなたが幸せだと思うとき、それはどんな時なのか、何をもって自分は今幸せだと思えるのか、言えるのか、客観的に見つめられてはどうでしょうか。

また逆に自分は今不幸せだと思うならば、なぜそのように思っているのか、これもまた第三者的に眺められたらいいと思います。

あなたが今この世の春と考えるほど幸せな時であっても、また暗いどん底の日々を迎えていても、その中に埋没しないで、少し外側から自分というものを眺められる心の状態になられることを、私はお勧めしたいと思います。

そういう心の状態から、あなたを含めあなたの周りを見渡せば、決してケ・セラ・セラではありませんが、この世には、絶対ということはひとつもないと思えないでしょうか。

肉、形の世界において絶対ここは譲れないとか、これだけは唯一絶対のものであるとか、そういうものは本来存在しないのです。あなた自身、狭い視野の中に、自分を押し込んで、はまり込んでいることに気付いていかれたらと思います。何も貪欲どんよくに求めなくても、そして歯を食いしばって頑張らなくても、氣張らなくても、もっとそこから心を離して、心軽やかに生きていかれたらと思っています。

ひとつの物にこだわるというか、執着する心では苦しいだけです。たとえ今幸せを絵に描いたようなあなたであつても、それを失いたくないとしてしがみついていた、自分の幸せを誇ったり、その心で周りを見下げたりする思いを抱えているようでは、本当にあなたは幸せだと言えるのでしょうか。また、あなたが朝から晩まで不平不満を言い、愚痴ぐちり、嘆き、恨みつらみの思いばかり

を吐き出しているならば、あなたは間違いなく不幸せでしょう。そのあなたの心があなたを不幸せにしているということが、分かりますか。あなた自身が幸せから遠ざかっていつているのです。

肉的に幸せも不幸せも、意識の世界から見ればみんな幸せなのです。自分が今ここにこうして存在していることが、もうすでに幸せなことなのです。自分が生きていると思っている人からすれば、どうしてそんなことが幸せなことなのかと思われることでしょう。そういう方達には、やはり形が整って、誰が見ても幸せだと思えるものが幸せの基準になっているのでしょうか。だから人類はお金によって狂ってしまったのです。幸せを運んでくれるものはお金であるという考えは、本当に根強いです。

お金と神様が私達を幸せにしてくれる、それが他力信仰をしてきた人達の本音です。幸せを貪欲どんよくに求める心押し隠しているだけで、中身は無知と欲とエゴのエネルギーが渦巻いています。神を祈り、祭り、お金も何もかも献上して、

どの人よりも私を幸せにしてください、私の望みを叶えてくださいとやっています。信仰厚き人は欲深い人です。祈る姿は敬虔な姿ではありません。神様に手を合わせて何を祈るのでしょうか。何を願うのでしょうか。自分の健康と会社や家族の安泰ですか。本当にバカげていると思いませんか。毎年、お正月になれば恒例のようにそんな滑稽な映像が放映されています。

ある時は福を求め、団扇を奪い合っていたシーンもありました。皆さんの中にはそれを見られた方もあるかもしれません。どのように思われたか分かりませんが、それは、その姿に本当に欲深い人間の心が鮮明に表れていた一コマだと、私は感じさせてもらいました。

もとより、この日本の国は天照を神として奉つてきた国です。今現在、様々な新興宗教が乱立していますが、日本の国は古来より天照のエネルギーの中で成り立ってきた国です。敗戦後、社会的、経済的に目覚しい復興を遂げ、今に至っていることも、この天照のエネルギーによるところが多大了。

そして今や日本の国における社会情勢、経済情勢、対外的環境等々、あちらこちらから不具合が出てきています。いわゆる天照の国、日本の根幹こんかんが揺らぎ始めてきたということです。形の世界に生きているほとんどの方は、まだそういうことには気付けません。しかし、これから日本の国を取り巻く環境は極めて厳しいものになっていくことでしょう。それも天照のエネルギーの強いところから、それが表れてきます。今まで君臨してきた天照のエネルギーに異変が生じてくるのです。天照のエネルギーの中でがっちり固められてきたものが、崩れ始めてきているということです。まずそこから始まり、神や仏が祭られている信仰深きところがおかしくなっていくのです。他力の神々に心を向けていくということが、どんなに人間の心を狂わせていくか、そんな幸せや喜びとは似ても似つかない様相を呈ていしていくことになるでしょう。どれだけ手を合わせ、祈り、願っても、すべてが崩れていくのです。それはなぜなのか、宗教的な表現をすれば一条の光が射したということでしょうが、まさにそのブラックパワーがこれから大きく変わっていくとしています。

そこで、人類が真実に目覚めるために絶対欠かせないものは、想像を絶する規模の天変地異であることを伝えておきます。何もかも根こそぎ崩れ、信じてきたものも全部失って、そこからがようやく人類の出発です。そんな時が、もう間近にやってくる。そんなに遠くない未来に人類が出会っていく天変地異は、ものの見事にその価値基準を覆^{くつがえ}していくことでしょう。

何度も何度も繰り返して起^{おこ}ってくる天変地異、もはや人類の講^{すべ}じる術は何も残されていません。成^す術もなく、ただ天変地異を受け入れていくしかありません。それでいいのです。肉の人間には何の力もなかったということを思い知るほどの天変地異、それは想像を絶するものです。

それが宇宙の法、これこそが唯一絶対のものです。この法は曲げることも変えることもできないのに、その法に逆らって逆らって存在してきたのが肉の人間だったということです。それを自らが知っていくことも、また法の中に生かされているからこそなのです。

すべてが愛なのです。愛しか存在しない、喜びしか存在しないことを、私達は天変地異を通して心で知っていくようになっていきます。意識の流れが眠っていた意識を目覚めさせ、そして、その流れが段々に太く大きくなっていく、そのために必要な時間が、これからの二五〇年、三〇〇年ということになります。

そういうことを経て、ただ肉の幸せと喜び、肉の繁栄を求めて存在し続け、他力の神々に救いを、パワーを求めてきたことが、本当にちっぽけな世界のことだった、本当に愚かなことだったと、人類は心で気付いていくことでしょう。それが厳然^{げんぜん}と存在する意識の流れであり、その流れの中の今世のセミナーでした。すなわち私とともに今世の肉の時間を頂き、これまでずっと学び続けてきたということです。そして、それもすべては二五〇年後の来世に繋^{つな}ぐことにより、大輪の花を咲かせるのです。その過程の中にある今だということを、どうぞ、あなたも自分の心で知っていただくさい。

しかしながら私はあなたに、あなたの今の肉の人生をこのように生きなさいなどと言って、あなたを縛^{しば}る思いはありません。ただ心を見てくださいとは申

してきました。心を見る手順も、今までたくさんの資料がありますからそれを参考にして、あなたが生まれてきた理由、今そこに存在している訳、あなたの人生の目的、あなたにとって神とは何か、ぜひ、あなたの心で分かっているってほしいと思うだけなのです。

根本が腐り切っているのは、その上にどんなに立派なものを築こうとも、それはあつけなく崩れ去ってしまう砂上の楼閣だということを、心に留め置いてください。しかし今の人類はその根本が何かということも分からなくなってしまうたし、従って土台が腐り切っていることにも全く気付いていない状態である、私は伝えているのです。

人類の歴史は神と金に狂ってきたと言っても過言ではないでしょう。神の力と金の力、両者を手にすれば怖いものなし、すなわち人類の根本にはずっとこの神と金が鎮座してきました。それらが幸せを運んでくれるものだという思いが心にこびりついています。そして、それが世間の常識です。

口で奇麗事きれいごとを言っても現実問題としてこうじゃないか、だから私は一生懸命働き、お金を稼ぎ、幸せになろうとしてきた、神を敬い、神を貴たつとび、神に祈りを捧ささげる、そのどこが間違っているのだという思いは、どなたの心の中にもあつたはずです。そして今もその思いのまま人生を生きておられる方がほとんどです。

私はあえてそういう人と論じ合うということは致しません。その人の生きてきた人生を全体から眺め、そして、その人の意識の世界に思いを向ければ分かるからです、感じられるからです。思いを向ければ、その人は私は本当の人生を生きてこなかった、本当の人生が何か分からなかった、そういうことをその人自身語っています。ただ肉を見て肉の言動だけを見てみると、まっとうに生き抜いてこられたかもしれません、決してそれは真実のその人を語っていません。その人には根本が抜け落ちていた、その人の人生には根本がなかったということです。根本がない人生をいくら生き永らえようと、全く無駄であるとは申しませんが、何とも哀れを感じます。何も分からずに生き、何も分から

ずに死んでいく肉、そして中の意識達は、またしても苦しい世界に沈んでいかなければならないのです。しかし肉体細胞は最後の最後まで愛を流し続けます。その愛に支えられて自分は生かされているということに、全く気付けなくなつたその心たるや、お粗末そまつしごく至極だと言えましょう。

他力の神々も、お金も、自分の心から離していくことは大変難しいことです。地球上だけでも三億六千年の過去を持つ人類にとって、それはもうしつかりと心に染み付いてきた心癖です。そうすんなりと右から左へと流すようにはいきません。私とともに二十年、それ以上学んでこられた方々においても、今世ようやく合格点に到達された方が、さあ、どれくらいおられるでしょうか。現実にはそういうものです。

そういうことを踏まえて私は伝えてきたのです。だから冒頭にもあるように、すべてを理解してもらおうとは思っていません。しかし少しずつ少しずつでいいのです。少し間違つてきたかなあと、もしあなたがその心で思えたな

ら、そこからあなたの人生を振り返る勇氣を持つてください。

みんな間違つて生きてきたということには変わりはありません。あなただけではありません。みんながみんな眞実を知らないまま、今世、今の今まで存在してきたことです。そして、これからも間違つてきたあなた自身をいっぱい抱えて存在し続けていくということです。

しかし、こうして眞実の世界を肉で聞き、肉で知ったということは、人類歴史上において本当にすごいことなのです。今世からその歴史は新たなページを開いていくということ、新たなステージに上がったということをお伝えしておきます。

必ず、あなたの意識の世界での動きが出てきます。今は肉の世界での出来事であり、本当にちっぽけなことに見えることも、それらはすべて二五〇年後への布石だということです。私があなたに伝えていることは、みんなそういうことを踏まえているということが、これからあなたがご自分の人生を生きていかれる中において、きつと分かつてこられることだと私は思っています。もちろん

ん、それは今世だけではないということも付け加えておきます。

真実をお伝えしている私の中には喜びしかありません。セミナーを開かせてもらっている間において、私は様々な人から様々な言葉、態度を受けてきました。もちろん喜びと感謝を伝えてくれる方が大半でしたが、罵詈雑言ばりぞうごんを浴びせられたことも多々ありました。それでも私はそういう人達もいつの日にか、私がお伝えしようとしていることを分かってくださると信じながら、今日までやってまいりました。

もとよりセミナーでお金儲けをするとか、名を売り、顔を売るという思いが全くない私には、どのような言葉であれ、態度であつても、それによつて自身が揺れるということはありませんでした。そして私はどなたに対しても誠実に向き合ってきました。その人が分かってくれられないは関係なく、私自身に誠実に、そして皆さんにも誠心誠意お付き合いさせていただきました。

そして予定通りに私の仕事は進み、この本を仕上げることで、さらに総仕上

げをさせてもらっている次第なのです。

もう私は本当に今最高に幸せです。私自身の肉の人生を振り返れば皆様と同様、いやそれ以上に様々なことがありました。私もまたご多分に漏れず、自分の職業を通して人間社会の裏側を数々見てまいりました。私は、私を含め、人間というものは本当に愚かな生き物だと思っています。

しかし私が体験してきた事柄は、どれもこれもみんな今、私にはプラスに転じ、ただただありがたいという思いが心から沸いて出てきます。その当時はどれだけ心を落とし、心を汚してきたことであつても、みんな私には必要な人であり、必要な出来事であつたということが分かったのです。だから私を苦しめ、自分の敵だと思つてきた人であればこそ、なお一層その人達に対して本当にありがたいとうございましたという思いが出てきます。敵は一人もおりませんでした。これが自分の体験を通し、心が見えていく過程の中で教えてもらったことでした。敵は一人もいなかった、この思いに到達できたとき、本当に心から嬉しく思いました。苦しみは外から来るものではなく、外から与えられるものでもな

いということに、私は心で気付かせてもらったのです。心を広げていくことが喜びでした。様々な出来事、色々な人々が私を鍛えてくれ、己という肉を崩してくれました。今はもう、ただただありがとうしかありません。

心を落とし、心を汚し、苦しみ抜いてきた人ほどいいのです。今の今まで間違った方向を向いていても、その次の瞬間真実に目覚めていくというか、間違つてまいりましたと、懺悔の思いが噴き出てきて心が一変することもあり得るのです。

人間というものは本当に愚かですが、またそういう体験に出会えるかもしれないと思うと、なんて幸せな存在なのだろうかとも思います。

肉の小さな殻の中に自分の心を閉じ込めたままでは、そんな素晴らしい自分と出会うことは決してありません。肉の殻を突き破り、己の本当の姿を垣間見た瞬間から、今、存在していることそれだけが喜びであり、幸せであるということが心で分かってくるのです。

ぜひ一度、あなたの心で始めてみてください。私は嘘は申しません。ただ、あなたはあなたの心を見るときをやっていけばいいのです。そうすれば、どんなにあなた自身が愛され許されてきたかが、あなたの心に響いてくる日がいずれやってくるでしょう。それはあなたの身体、あなたの家族、あなたの人間関係、あなたの仕事等々、あなたを取り巻く環境を通して、あなたに伝えてくれるようになっていきます。

それらはみんなあなたに対するメッセージです。そして肉で言えば不都合なことかもしれません。それはそうでしょう、肉で調子よく思い通りに事が運んでいては、誰も立ち止まって自分を振り返ることはしません。それでは間違った道をさらにどんどん進み、さらに膨大な闇を垂れ流し、そして、それがまた自分に返ってくるという循環の中から決して抜け出せません。

そしてまた、たとえ振り返る時があっても、心を見るときを知らなくては、肉で何とかしよう、形を修復しようということだけで終わってしまいます。後は自分の心を納得させる最もらしい理由を並べて、その場その場を切り

抜けていくだけです。それでは自分をごまかして、自分を偽って、自分を抑え込んでいく結果に終わるだけで、今までと何ら変わることはありません。たとえ形は修復され以前よりよくなっても、自分を偽って生きていくその心は変わらないのです。それではあまりにも自分がかわいそうだと、そう思いませんか。そこで心を見るということを知っていたならば、同じ現象に出会っていても、きつとその現象により一味違った自分を見るというか、自分の成長が感じられるのではないのでしょうか。

世間の荒波にもまれて人は成長するものではありません。その人それぞれの苦労が、本当にその人にとって肥やしとなっていくのは、それぞれが心を見られた時です。今までの現象が、みんな自分には本当に必要なことであつたと心から実感された時、初めて苦労が苦労でなかったということが感じられてくるのです。今、自分がここにこうして存在していることがただただ嬉しい、ふつふつとその喜びが心に起こってきます。色々なことはあつたけれども、それはこの幸せを心で感じ入るためのものであつたと、心の底から思えてくるのです。

自分の内面から本来人間の持つ智恵と勇氣、賢さが溢あふれてくるということがかつてくると思います。そして、そうなってくれば自分の心の中には大いなるパワーが存在するのだということも、またはつきりと感じられてくると思います。

波動は正直です。波動は正直にあなた自身の今現在の心の状態を語っています。どんなに表面を取り繕つくろつても波動はごまかせません。しかし波動の世界を知らないもの同士では、互いの肉で確認できるものに、それぞれが今持ち合わせている基準を加味して決定付ける、それを基準として、それぞれの人生を生きているということでしょう。

どんな場合においても自分で選んで、自分で決めて、そして、その結果をまた自分が受けていく、これが大原則です。しかし選んで決めても結果を受けられない、すなわち責任をみんな転嫁てんかしていくのが今現在の私達の現実の姿だと、私は思っています。

世間並みに生きてきた私であるのに何でこんな目に遭うのか、それはきっとあのせいだ、これが原因かと、決して己が使ってきた思いというものに心を向けません。正しい自分が中心にあるから、まさか自分が間違っているなんて絶対思えないのです。その方にとって自分を崩すということは大変なことなのです。我^がを張って生きてきて、これが私だという思いがこびりついてしまっている人に向かって、あなたが間違っていますよと真正面から言っても、それは拒否されるだけです。やはり、その人はその人に与えられた時間、空間の中で、自分で気付いていくということしかありません。

しかし真実はひとつであり、みんな真実を求めて存在し続けてきた意識ですから、どれだけ頑固で強情な意識であろうとも、いつの日にか真実に到達することでしょう。それは何十億年、何百億年かかるかもしれませんが。心で気付くまで、その方の地獄は続いていくということです。

そこで、あなたはコペルニクスの転回という言葉をご存じでしょうか。太陽

が地球の周りを回っていたというのと、太陽の周りを地球が回っていたというのでは、根本的に全く違ってきます。まさに一八〇度の転回です。このコペルニクスの転回が私達にも起こってこなければ、真実は見えてこないという意味で、私はセミナーの中でこの言葉を引用してきました。

そうです、肉から意識への転回、肉が自分だという思いから、意識が本当の自分の姿であるという心の転回が必要不可欠のことなのです。

この意識の転回、心の転回はそう簡単にはいきません。肉が自分だとする思いは非常に根深いです。現に目に見えない世界があると感じておられる人でも、その人の根本は肉です。肉を基準としてとらえています。その人の中でこの転回が進まない限り、どこまで行っても真実には到達しません。

しかし今世、意識の目覚めがありました。意識の世界は大きく動いています。その流れは淀むことなく順調に流れています。その意識の流れが、あなたの中からも揺さぶりを起こしてまいります。これから、あなたに形を通してそのメッセージが届けられることでしょう。さあ、あなたもこの流れに乗ってい

きましよう、ともに歩いていきましょう、そのメッセージがあなたの心に伝わってきます。素直な思いで受けていけるあなたでいてください。それは本当に優しい優しい誘いいざななのです。そのことに気付けるあなたに蘇よみがえってくださいと、今は申しておきます。

すべては愛の中でなされていることなのです。愛がすべての意識達に呼びかけているのです。意識達は今まさに目覚めようとしています。肉が自分だと思っているその思いだけが、その目覚めを妨げているということです。それは、どこまでもどこまでもそびえ立つ己という思いです。

肉の人生を生きていくには確かに己を主張し、賢く立ち回することは必要かもしれません。そうでなければ淘汰とうたされていくかもしれません。しかし、それはそれでまたよしではありませんか。あまりそういうところにこだわって戦々恐々とするよりも、流れに逆らわない、自然に悠然ゆうぜんと流れていくことが大切で、そうすればおのずと道は開けてきます。前にも申しましたように、悠久ゆうきゆうの

過去より悠久ゆうきゆうの未来へと続いていくあなたの時間の中の今、というふうに自分をとらえてみてください。もう少し自分というものを大きく眺めてみてください。肉のあなたが淘汰とうたされても、あなたの本質は何ら変わることはありません。しかし価値基準が肉にあれば、そういうことは分らないでしょう。ひとつのコース、あるいはひとつのルールから外はずれていくことは、人生の敗北者だという思いを抱いておられるからです。それがそもそも間違いであり、何も分かっておられないということなのです。

人にはそれぞれ道があります。本来はそれが真実へと続いていく道なのですが、肉に生きる意識はいまだ道見えず、道遠し、その中でもがき苦しんでいます。

また、真実へ続く道を見つけるのにエリートであるとかそうでないとか、何も関係がありません。ただ、その方が心を見ているか見ていないか、心を見るということを知っておられるかそうでないか、それによって道は大きく別れてきます。だから、あなたがどのような状況にあらうとも、あなたはただ自分の

心を見るということを重ねていくだけです。やがて、あなたの中からの真実への叫びが、あなたのその肉を動かしていくことでしょう。それが自分に素直に生きるということです。

私達は全く逆に肉というものをとらえてきたのです。肉がすべてを牛耳ぎゅうじつていくではありません。中からの促うながしで肉は突き動かされているだけなのです。だから中をきちんとしていれば、あなたが肉の人生を生きていく上で、その肉を維持するのに必要なものは、すべてあなたの手中に入ることです。あくせく心忙しく身体を酷使こくしして幸せになろうとしなくても、心をしっかりと管理していれば、悠々ゆうゆうと人生を過ごしていけるようになっていきます。それだけのものを自分自身は、みんな用意してきたということでしょう。その中で喜んでいけばいいだけであり、苦しんだり、嘆いたり、悩んだりするのが、もう自然から遠くにあるということです。

本来の人間のあり方を全部忘れ去って、その本来のあり方から大きくずれた分、当然心には苦しみが起こってきます。間違って存在しているから、その修

正がなされていくのは当たり前のことです。そのために肉をもらってくるということです。だから生まれてくるということは大変なことなのです。

それを知らずに転生を繰り返してきたのですから、今世を含め過去は苦しみの連続でした。間違い続けてきた過去ともども、すべてが喜びへとようやく帰っていただける道筋を、初めて肉を持って知ったということです。

私はこんな嬉しいことはないと思います。

そんな悠久ゆうきゆうの流れを心でしみじみ感じながら、あなたもあなたの人生を歩いてみませんか。自分というものを、もっと知っていく時間をできるだけ持たれたらいいと思います。

ゆつたりとあなたを生んでくれたお母さんを思ってみてください。できれば軽く目を閉じて、母を思う時間を過ごされたいと思います。

そこで、この母を思う瞑想ということで少し話をさせてもらいます。

あなたを生んでくださった肉のお母さんは、あなたと同様その肉は愚かで

す。愚かなことを言ったりしたりします。それはそれで、あなたが心を見ていく上であなたにとって必要だから、肉のお母さんはその肉を通して演じてくれています。だから、そのひとつひとつをつかまえて、ああだこうだと言つても仕方がないことです。それよりもその母親の肉を通して、あなた自身の心が引き出されてくるわけですから、その思いをノートに書き出すなどして、しっかりと心を見つめていけばいいのです。そして、ある程度までくれば、後はその書き出した、あるいは見つめてきた思いに心を向けてみましょう。軽く目を閉じて、最初は肉の母親を思い浮かべながら、しばらく、時間を持たれたらいいと思います。そういうことを繰り返ししていくうちに、ふっと心が何かに触れるというか、何かを心は感じていかれるかもしれません。しかし、それが何であるかとか、そういうことにあまりとらわれることなく、そういうゆったりとした時間を持つていくということが大切なのです。要するに五官を閉じる時間を持つということなのです。

母親に使ってきた心は誰一人例外もなくすさまじいものです。だから、あなたはその母親のお腹なかを通して生まれてきたのです。生んでもらったのです。どれだけ間違い続けてきたか、あなたはあなたの心を見ていく中で自分の出してきた、出しているエネルギーを知っていくことでしょう。許せない、母親を呪って、呪って、殺してきた過去からのあなたの思いが浮かび上がってくるのです。私は生まれなくなかった、なぜ、こんな環境の中にこんな母親から生まれてきたのか、私は苦しいだけだった、心が一斉に叫びます。たとえ今世は肉的に整った環境の中に生まれてきて、どんなに羨望せんぼうの眼差しを向けられても、あなたは間違いなく地獄の奥底から生まれてきたのです。だから、あなたの心の中もそのように荒れ狂っています。そうでなかったら肉を持って生まれてくることは要らないのです。なぜ肉を持ち生まれてきたのか、みんな真っ黒だからです。その真っ黒な自分と出会っていくのが人生、肉を持っている時間、空間です。だから地獄の叫びを自分の心で分からない人こそ不幸な人なのです。苦しんでいる自分にまさに出会っているのに、知らぬ顔をしている哀れで冷た

い人達です。そして、もつとどうしようもないほどそびえ立っている人は、そんな自分に対して上から物申している方々です。立派で、素晴らしい自分があって、そこから教えを垂れ^たようとしているのです。そんな方々はいくら意識の世界に通じていると豪語しようとも、所詮は真^{しよせん}つ黒なエネルギーと通じ合っているに過ぎません。やはり、その方々から流れるものも冷たくて厳しい真つ黒な波動です。

道徳、規範、規則、慣習等々、あらゆるもので心を縛^{しば}りつけ、がんじがらめの中に心を閉じ込めて、もがき苦しんで存在しているのが、真実から遠く離れてしまった人々の心模様です。

今、世間で切れるというか、心のもやもやが暴発する人が増えているのは、みんな私達人類の愚かな世界が表面化してきているということです。みんな爆弾を抱えて存在しているのです。決して、その人達だけが特殊なのではありません。道徳や理性でどうにか抑えているものの^{ひとかわむ}一皮剥けばみんな同じです。そ

ういう現象を通して、みんなこんな心の世界を抱えているのですよと、互いに警告を発しているのであって、決して他人事ではありません。

これは、それぞれが自分の中を見て、自分の出してきたエネルギーを心で知っていかなければ分らないことでしょう。みんな自分と他を区別して、私は間違っていない、私は素晴らしいと、それぞれが作った法の中で己天下を唱えているだけです。法とはそんな得手勝手えてかってなものではありません。また自分が出してきたものは必ず自分に返ってきます。それは水が高いところより低いところへ流れるように、それが自然の理なのです。そして自分に返ってきたものは、自分が受け入れていかなければならないということも同様です。葬り去るほうむことも、捨て去ることもできない、受け入れていくまで何度も巡おのってくるのです。歴史は繰り返されると言われますが、全くその通りです。各々の心の歴史おのおのには終わりが無い、自分自身で気付くまでエンドレスです。

人生経験が豊富な人は、人間味があつて会話に事欠かないでしょう。この世

をおもしろおかしく渡つていく術すべを会得えとくしている方は、また違った意味で人生とは素晴らしいものだ、自己の経験から語られることでしよう。しかし人生の色々な場面をくぐり抜けてきたから、経験を多く積んできたから、人間の厚みが増して肝っ玉の大きい人だ、懐ふところが大きい人だ、人生が分かった人だという評価はどうでしょうか。人生の中で色々あるということは、それだけの思いを自分が出してきたということです。その思いの結果が形となつて、今、自分が見えているということです。苦労話、手柄話ひょうろを披露するのではなく、そこで自分の出してきたエネルギーに気付いていかなければなりません。間違つたエネルギーを放出してきたことに気付いていくために、そのような肉を持つて、そのような環境を選んできたということです。それが肉を持つ所以ゆえん、生まれてきた理由です。そのポイントを外はした生き方は、本当にお粗末な人生だと言わざるを得ません。

しかし今、世間の誰がそのようなことを口にするでしょうか。すべてが形ある世界を基準にして成り立っています。だから誰も何の疑問も持たず、日々の

生活を過ごしています。そういう中で私はあえて、このように伝えさせてもらっています。本当に考えてみませんか、本当にあなたは今のままでよろしいのですかと、私はあなたに問いかけているのです。

答えはすぐに返ってこないでしょう。まず、あなたは分らないと答えるでしょう。そうかもしれないけれども、そんな堅苦しいことは抜きにして、今の私が楽しければそれでいいのではないのか、まだ人生は先が長いし、そういうことはもう少し後で考えてみます、とりあえず私は今の生活がありますから、という返答があるかもしれません。

しかし、これだけは知っておいてください。私自身いい加減なことを、いい加減な思いで伝えるために、今までの年月を経てきたものではありません。伊達^{だて}や酔狂^{すいきょう}で、私は二十年もかけてセミナーを開いてきたものではありません。私は収入の道を自ら放棄し、自分の真なる思いをセミナーという形で遂行^{すいこう}してきました。もちろん無償でした。また私がその中の頂点でもなく、従って私を中心にして組織が成立しているわけでもなく、当然そこには継承すべき地位も財産

も何もありませんでした。ただ、それぞれの心に伝わってきたもの、響いてきたものが、その人その人の言うなれば財産になっていったかもしれません。

ひとつひとつのセミナーがそこで完結で、そのセミナーで学んだもの、それぞれの心に感じたものを、これからどのように活かしていくかは、みんなそれぞれの心にかかっているということを、私は伝えてきました。このようにして開かせてもらってきたセミナーです。もちろん、これは宗教、人の道、そんな類たぐいのものは次元を異ことにします。セミナーは人生です。そんな時間、空間を皆さんと共有できたことが、私にはただただ喜びであり、私はそれで完結してきただです。私はセミナーに命を懸けてきたのです。

すべての源は喜びです。喜び以外は存在しません。どんなに正論を唱えようとも、このことが分からない限り、人類が真実に目覚めることはあり得ないのです。それほど人類は墮落だらくしてしまったということです。

日々の生活に明け暮れて、目先の幸せだけを追い求めている、あつという

間の人生です。生まれて、学校教育を受けて、社会人になり、そして家族を持ち、人は何の疑問も持たないまま社会の流れに沿って生活を繰り返していきま
す。現代は社会秩序が乱れ、将来に対して不安を抱いている人も少なくないで
しょう。刹那的^{せつなてき}に生きる人達も増えています。夢を持つどころか、金、金、金
の世の中です。エゴ丸出しに自己の権利だけを主張し、我が身と我が家族だけ
を守る中で、どんな人間が形成されていくのでしょうか。みんな喜びを忘れ
去ってしまったて、己の利だけを貪欲^{どんよく}に求めていくエネルギーを互いに出し合っ
ているのが現状です。その中でどのように生きていくのか、何を選んでいくの
か、何を基準にしていくのか、その根本がもう分からなくなっていると思いま
す。人間社会が混迷を続けていくのも頷け^{うなず}ます。

シンクタンク、それも結構です。しかし真実の分からない人間達がいくら頭
脳を集積^{はかい}しようとも、建設的なものは生み出されないので。むしろ、それら
により破壊^{はかい}の方向へ進んでいっていると表現したほうが正しいかもしれませ
ん。そう破壊^{はかい}です。ただし本当の意味の破壊^{はかい}ではありません。そこには優しさ

がないからです。だから天変地異が人類にもたらすものとは全然違います。

形からすれば天変地異は破壊はかいです。形が壊れていくのですから、まさに破壊はかいです。しかし、そこに流れるものは優しさなのです。愛なのです。肉の人間から見れば無情、非情です。一瞬のうちに命が奪われ、跡形もなく生活基盤が失われていき、生きる望みを絶たれ、不幸のどん底に突き落とされたかのように見えます。肉基準の心では、まさしくそれは破壊はめつ、破壊はかいでしょう。

さらにまた、人間達の手で損失を補填ほてんできる程度の天変地異なら、まだまだ愚かな人間は何にも気付けません。自分達の中にある他力の神も捨てることなく、むしろ、そのエネルギーを膨らませていく結果となってしまう。だから根こそぎです。根こそぎ、本当に文字通り天と地がひっくり返るほどのものを、目の当たりまにしていくということが必要不可欠なのです。

そして、それは何が、誰が起こしていくのか、それは私達の意識の世界が起こしていくのです。すべては愚かな人類の出してきたエネルギーの結果です。自業自得です。

形を見れば破壊はかいですが、しかし、それで人類が滅亡していくのではありません。それは建設的破壊はかいと言うのです。そこから私達は全く違う自分達へと生まれ変わっていくのです。次元移行という意識の流れの中で、私達の中にコペルニクスの転回を起こしていくものが天変地異です。それは何度も伝えていきます通り、想像を絶する規模の天変地異です。例えて言うならば、地軸の傾度が変わればどうなるのか、そうなければ一瞬にして何もかもが消え去っていきます。そうしないと人類は気付けない、自分達の間違いに気付けない、他力の神々を心から捨てることはできません。

自分の中に本当の自分が生きている、生き続けてきたことを知っていく道を私達は歩いていきます。「人間とは何ぞや、私達は意識、永遠に生き続ける命、エネルギーである」このことが心に響き渡るような時を、私達人類は迎えることができるでしょう。そのために要する二五〇年、三〇〇年の年月、どうぞあなたも、あなたも真実に目覚める道を一步、そしてまた一步と歩み出していただくさい。

私の思いがあなたの心に届きますか。軽く目を閉じて、どうぞ私のほうに心を向けていってください。私は肉ではありません。あなたの心の中から、あなたに呼びかけている温もり、真実の声、本当のあなた自身です。

そこで、あなたがもし今世どこかで宗教の世界、あるいは精神世界を覗いてこられた人ならば、私に心向けなさいと言われたら少し戸惑いがあるかもしれません。しかし、そこで言われてきた私に心向けなさいということと、私が今そう言っていることとは全然違うのです。それらの宗教、もしくは精神世界は、すべて肉が基準だからです。そこでは人間を肉としてとらえ、そこから意識の世界を説いているのです。私は人間は意識であるという観点から意識の世界を伝えています。従って私はあなたを洗脳する思いなど全くありません。あなた自身の中で感じていってくださいということを、再三伝えてきました。自分の心で感じられないものは信じられません。むやみやたらに私は信じなさいと言っているのでもなければ、信じるものは救われるなんてバカげたことは

申しません。それなら、救われないから信じるという本末転倒ほんまつてんどうを招きます。

他力、すなわち肉基準の人を乗せていくのは簡単です。欲の心を刺激して、恐怖心を心に植えつけて心を縛しばつていけば、後は何でも言いなりです。縋すがりなさい、帰依きえしなさい、バカですよ、そんな言葉に踊らされて自分の人生を破滅はめつに追い込むなんて、しかし、そんなバカな人間はこの世の中にごまんといます。それはもう言うまでもなく肉の自分を自分だと信じ、形ある世界を本物とする心が、そういう欲の世界とぴったり引き合うからです。私はそんな世界をこうして今あなたにお伝えしているではありません。

どうぞ、あなた自身、目を覚ましてください。欲にまみれたあなた自身の心を見ていってください。

そのために素直になって、何も持たなかった赤ちゃんの頃のあなたを思い出していただくさい。あなたの目の前のお母さんに全託ぜんたくして、ただ喜びだけを発していたあなたの心に戻っていくのです。そのあなたの汚れなき幼子のように

な心が、あなたの心の奥底にしつかりと今でも息づいていることを信じていただくさいと、私はお伝えしているのです。その心で、その目で、今のあなたを見てください。確かに、あなたは社会に適合して立派に成長されているかもしれませんが。しかし、あなたの心にはヘドロのような汚れがびっしりとこびりついてしまっています。もちろん、それは今世の時間だけではなく過去から引きずってきたわけですから、その心の掃除は並大抵ではできません。みんな自分分は立派である、間違っていない、正しく生きてきたという思いが心にしっかりとあります。特に人生の荒波を乗り越え、混乱した世の中を生き抜いてきたと思っている人は、私はよくやってこれたものだと思ひ自分の人生を賞賛しょうさんすること分はあつても、全く間違つた生き方をしてきたと思ひにはなれません。頑固に頑固をまた今世も上乘せするような人生を生きてこられた、ということなのですが、そんなことに誰が本気になつて耳を傾けるでしょうか。

あらゆる方面で目覚しい進歩発展を遂とげているかのように映っている人間社会に、忘れ去られたものがあります。唯一、大切なものがないために高く積み

上げられたこの社会は、あちらこちらから不協和音を奏かなで始めています。やがて、それらは聞くに堪たえない騒音となり、それで初めて何かおかしいということになるのでしょうか。そこへ考えられないような天変地異が次から次へとこの地球に起こってくると、否いやが応おうでも何かを考え始めるでしょう。そういう時がやってくるまで、もうしばらくです。

肉を本物として生きる心に眞実は届きません。何が本物で、何が偽物であるのか、それを見極みきわめる心の目が曇くもってしまいました。周りを見渡してもみんな自分と同じだから、何の疑問も抱かずに安穩あんのんと時を過すごしているだけです。そこへ私の申し上げているような異質なものを耳にすることで、少しはそうだろうかと思うけれども、また日常に戻かえっていくのです。なぜならば、そこが肉にとつて居心地がいい場所だからです。肉を喜ばせ、肉を楽しませる、それのみに心を向け、心を使い、そのために肉を動かしていくことが生きていくことだと思ひ込んでゐるからです。自分の中にたくさんの自分が生きていて、その自

分を救うことが自分の今の仕事などと言われても、にわかには信じることなどできません。私はそのことがよく分かっている、それでも少しでも耳を傾けてほしい、心を向けてほしいと思っています。それは、私は意識達の叫びを心で感じているからです。私は意識の世界の实在、宇宙の法というものを心で感じています。私が語っていることは、私が修行をして編み出したものでも、到達した悟りの境地の類たぐいなどでもありません。これは法なのです。唯一絶対の宇宙の法、流れです。その流れに沿って、これからが展開されていくことを私は伝えるにきたのです。もちろん、こうして今、私とあなたが出会わせていただいているのも、その流れの中の一端であると私は申してきました。流れは淀みなく流れています。流れに逆流するものは自然淘汰しぜんとうたされていきます。それが肉の目ではなく、心の目で見ていけば、心で感じていけば分かることだということを伝えていきます。

人生八十年、健やかに過ごされてもそれから先があるのです。死ねば終わり

ではありません。あなたの意識の世界はずっと永遠に続いています。ということとは、あなた自身が永遠に続いているということです。そして今、生まれて死んでいくという転生の中で、今世ようやくあなたはそういうことを告げてくれるチャンスに出会っているということです。だから肉のあなたは気付けなくても、あなたの中の意識達は本当に諸手^{もろて}を挙げて喜んでいるのです。それを肉のあなたがどれだけ信じていけるかということでしょう。

私はあなたの肉に向かって語っているのではないことを、あなたが分かってくださるには、私に思いを向けて、私の波動の世界を感じていくことが必須条件です。そうすれば私を肉で知っていても、知らなくても、私はあなたの心の中から語っている本当のあなたであることが分かってくると思えます。これは頭では分からないでしょう。いくら頭を巡らしても出てくるのは疑問と疑念だけです。

頭を巡らせば「洗脳されたくない、そんなことは信じられない、信じない、何が意識の世界だ、そんなものには騙^{だま}されるな、もっと肉に心を向けろ、お前

は幸せになりたいのだろう、ならばお前の肉の喜びと幸せをもっと求めてい
け、お前の周りはみんなそうだ、その肉を表せ、その肉を高めろ、そして金を
手に入れる、そうすれば幸せも喜びもお前の思い通りだ、何でも願いが叶^{かな}えら
れるぞ、そんなまやかしに心を染めていけば後で泣きを見るのはお前だ、今更
何を言っている」そのような思いが心から出てきます。すべてそれは本当のあ
なたをその心から捨て去って、肉のみに生きてきたあなたの心の歴史が、その
ように語っているのです。

しかし、そこでもう一步踏み込んで、自分自身の心に尋ねてみるのです。

「今、私にそのように語ってくれているけれども、本当にあなたはそれで幸せ
だったのですか、あなたは寂しくありませんか、あなたは一体誰なのですか、
私に何かを伝えようとしてくれているわけではありませんか、あなたはそれを本
心から言っているのですか、間違っていると思いますと私にその苦しみを語って
くれているではありませんか、あなたも本当のことを知りたいのでありませ
んか」そうやって自分の中で対話をしていくのです。最初から上手にできない

かもしれません。しかし、どなたの心の中にもお母さんのお腹なかを通って生まれてきた事実があります。お母さんのお腹なかを通して生まれてきたということは、その時に本当のお母さんの思い、母の温もりに触れてきたということです。その母の温もりは決して消え去るものではありません。その母の温もりが、あなたの中であなたに答えてくれるのです。真剣に生きようとしているあなたに伝えてくれているのです。ただ、それを肉が自分だとする厚い壁が邪魔をして、今、まだあなたの心に届いていないだけなのです。母の温もりも、その厚い壁も、あなた自身です。ただし母の温もりはあなたの中にもともとあったものがあり、厚い壁はあなた自身が長い転生の間に作ってきたものです。だから自分の心を見えるということを繰り返していけば、どなたの心にもその母の温もりが蘇よみがえってきて、厚い壁が段々に、ときには一瞬にして消え去っていくということが起こってくるのです。その意識の世界の仕組みを、私は様々な角度から伝えてきました。

確かに三億六千年、それ以上の心癖を弱めていくのは大変困難なことです。

しかし、あなたが素直な心を思い出し、欲得なしに本気になって自分の生き方、死に方を考えるなら、私がこの本を通して伝えようとしていることは、きっとあなたの琴線きんせんに触れていくことでしよう。

あなたが過去においてどんな人生を歩いてきたかは問題ではありません。それよりも、その時どんな思いを使い、どんなエネルギーを流してきたか、自分の出してきたエネルギーを、どのくらい感じてこられただろうかということが大切なことなのです。私は一人でも多くの方に、なぜ自分が生まれてきたのか、なぜ死んでいくのか、ということ立ち止まって考えてほしいと思っています。そして、この本がそういうことに触れていくきっかけになってくれればと思っています。

私はあなたに本当の幸せと喜びを知ってほしいと心から願う者です。そして本当の幸せと喜びはあなたの中にある、あなた自身が幸せ、喜びの存在であることに心で気付いていってくださいと、お伝えする者です。

毎日を喜んで、楽しんで過ごされているのは、それはそれで大いに結構かと思ひます。しかし、それだけに踏み留^{とど}まつてほしくない、やはり本当の人生を生きていつてくださいう思ひがあります。誰かに依存する、あるいは何かを頼りにする生き方ではなく、一人ひとりがもつと自分を大切にしていってくださひ、もつと自分を信じていつてくださひ、まず、ご自分が本当に幸せになつてくださひ、いえ、すでに幸せなご自分であることに気付いていつてくださひといふことを申し添えておきます。

私達の意識の世界が現象化したものが形の世界です。形を通してそこから何かを学んでいくといふことが、本来の人間の生き方です。ところが、そうではありませんでした。自分達の采配^{さいはい}で形の世界をうまく操ろうとして悪戦苦闘してきたのが人類でした。「形の世界は意識の世界が現象化されたものである、初めに意識ありき」と、はっきりと伝えた人はおりませんでした。形の世界の^{あなど}中で法を侮^{あなど}つてきた人類に、本当の幸せも平和も、訪れないことを知ってい

なければなりません。

本末転倒ほんまつてんどうのことを平気で、しかも堂々とやってきた人類の愚かさは、今、声を大にして語らなくても、やがて時がそれを証明してくれます。さあ、その時は大変ですよ、大変な状態を目の当たりまあたりにして人類はどのような行動に出るのでしょうか。いくら頭脳を寄せ合って、そして神を祭り、祈りを捧たかげても、襲いくるものは容赦ようしやなくその勢いを弱めることはありません。一瞬のうちにすべてが消え去っていくのです。

それが私達が書いてきたシナリオです。次元移行のために書いてきたシナリオは、正確に狂うことなく、今、着実に進んでいます。人類よ目覚めなさいと、喜びのエネルギーが天変地異を起こしていくそのシナリオの中の一部が、今世のこの時間、今、私とあなたがこのように出会わせてもらっている時間です。その中で私は自分の心で感じ、確信しているものを、このように伝えさせてもらっています。私の思いはそれで完結なのです。お伝えしたものをあなたがどのように受け取り、どのように扱っていくかは、私の関知するところではありません。

ません。

確かに分かってほしい、分かったださいという思いはあるものの、それは私の中では苦しみにはなりません。なぜならば私は私の心で感じている世界が本物であることを知って、喜びだからです。これからどのような時を経て、私達はどうなっていくのか、私は心で感じています。そして、その世界だけが私には現実なのです。今、確かに肉の世界に肉を持って存在している私ですが、私の現実はこの肉を取り巻く世界ではないことは明々白々です。どんなに肉の世界の素晴らしさを強調されても、反対に肉の世界の苦しさを訴えられても、そのどちらもがこの大いなる意識の流れの中では取るに足らないことであり、いずれ消えていくものであることを知っています。だから私の世界は、そんな世界とは無縁です。ただ肉を維持するためにほんの少しかかわっているだけで、後はそういうもので自分の世界が乱されることはなく落ち着いています。日々、喜びで過ごせることが喜び、私はそんな毎日を送っています。

本当のことが分からなければ、生きることは苦しみで、その苦しみに喘^{あえ}いで

いる自分だけしか見えません。そんな自分が嫌で見たくないから自分から目を背け、人は心を外に向ける方法を次から次へと考え出します。心を紛らわせる何かに、はまり込んでいきます。

そして現実から逃避して無気力に生きていくか、もつと素晴らしい自分になろう、生まれ変わろうと自分に鞭打つか、ただ時を安穩に無事に過ごせることだけを願っていくか、どれにしても本当の人生の目的から大きくずれた人生を自ら選ぶ結果になっていくのです。そして、その心には新たな苦しみが山積みされていき、自業自得の濁流に押し流される転生を繰り返していきます。

もう自分のために生きていきましよう。生まれてきたということとは、あなた自身が苦しみの中からようやく手に入れたチャンスなのです。肉をもらうということをどれほど切望してきたか、みんな忘れ去ってしまったているのです。肉を下さい、私を生んでくださいとお母さんに願ったその思いというのは、ただひたすらに、この苦しみから自分自身を救い出したいと懇願してきたものです。

立派な人物にならなくてもいいのです。自分自身が生まれてきた本当の意味を心で知っていく人になってください。

強く生きるということはどういうことでしょうか。ひとつの信念、思想、信仰、信じるものを後生大事ごしょうだいじに抱え、それを頼みの綱として、清く、正しく、美しく生きていくことでしょいか。歯を食いしばって何くそと逆境をバネに必ず幸せをこの手につかむんだとか、あるいはひとつの目標を掲げて、それに向かって七転び八起きの精神で頑張っていくことでしょうか。

私は本当の優しさがどういふことか知らない人は、決して強く生きていくことはできないと思います。

そして本当に優しいということは、相手にただ単に慈しみ、哀れみ、憐憫れんぴんの情をかけるというわけではありません。もちろん優しく言葉をかける、優しい態度を示す、それはあなたの心の中に優しい思いがあるから、それを肉で表現すればそうなっていくのでしょうか、しかし、それは肉的な優しさであって、本

当の優しさは自己供養という作業を通して、あなたの心の中からどんどん沸いて出てくるものなのです。そして本当の優しさは自分が出そうとして出るものではありません。すなわち自分を自分で受け入れていく作業を、自分の心の中でどんどん進めていかない限り、本当の優しさは分かりません。そして、その自己供養を通して沸き出てくる優しさというものが肉にもにじみ出てくる、それが言葉となり態度となっていくのが本筋だと思います。

ここでまた聞きなれない言葉、「自己供養」という言葉が出ました。

これまでに書いてきましたように、人生の目的はこの自己供養ということにあります。自己供養とはもちろん造語です。自分を自分で供養する、すなわち地獄に沈み込んで苦しみ喘^{あえ}いでいる自分に本当のことを伝え、ともに喜びの自分に帰っていかうとする作業です。

言うまでもなく、この作業をするには、まず自分の実態を心で知り、感じていくことから始めていかなければなりません。自分の実態とは、自分の意識の

世界ということ。そのために心を見るということを伝えてきました。心を見せてくれる教材は、あなたの周りにはたくさんたくさん用意されています。それらのものを通して、間違ってきた自分、苦しんできた自分と出会っていくのが肉を持つ時間、いわゆる肉の人生だということも伝えてきました。

そして、その間違い続け、苦しみ続けてきた自分だけが自分であるのかというところではなく、本当の自分がちゃんと心に存在することも伝えてきました。

本当のあなたは、その心に真のパワーを持つ喜びの存在です。限りない温もりと優しさを心から放出できる存在なのです。それを押し止めて、そんな自分を捨て去って、無知と欲とエゴの中を生き続けて、真つ黒なエネルギーを垂^たれ流したまま、この宇宙に存在し続けてきた、それがあなた自身の今の実態です。そのあなた自身は、今もなお苦しみの底に沈み、さまよい、救いを求めているのです。その自分を救っていく道を、ただひたすら歩いていくことが自己供養の道です。

自分を救っていくのは自分にしかできないことなのです。だから、それをしていくために私達は今、肉という形を持っているのです。しかし肉を持つてくる、つまり生まれてくる本当の意味が分からないまま、知らないまま肉は成長していき、肉を楽しませ、喜ばせるという肉の喜びと幸せのみを求めていく人生を繰り返していきます。その結果が今、自分に返っているだけのことです。もちろん今世だけの結果ではなく、はるか遠い過去よりの結果が、あなたの心の中に、真っ黒に凝り固まったヘドロのような思いとなって、蓄積ちくせきされています。そのひとつひとつを、どうぞ、あなたの心の中から解き放してください、温もりへ喜びへ返してください、というのが自己供養です。

自己供養という説明が続きましたが、その自己供養を通して本当に優しいご自分に蘇よみがえっていける、喜び溢あふれるあなたに戻っていける、その道がこの本の副題にもなっているように、アルバートとともに歩く道、アルバートとともに生きていく道です。

そうです、私達はみんなアルバートとともに歩いていく意識です。本の最初のほうで、アルバートとは二五〇年後にアメリカに転生してくる私の来世であると記しるしました。アルバートとはその肉の名前であることは事実その通りですが、ここで言うアルバートとともにのアルバートとは、まさに喜びの波動、喜びのエネルギー、愛のエネルギー、そして本当の私達を指してそのように伝えております。

あなた方はこのアルバートの波動の世界に出会うために、何億年、それ以上の転生をしてまいりました。そして母を捨て、温もりを捨て、本当の自分を捨てて地獄の奥底を這はいずり回ってきた意識達が、喜びの、そして温もりの波動と出会う時間、空間が、ようやくこの三次元で実現されたのです。

このアルバートの波動を伝えるために、私は今世肉を持ってきたのです。それは三次元のあなた方に伝えるためには、私もやはり三次元のこの肉が必要であったからです。だから私は前にも記しるしましたように、今世初めて肉を持ったということです。もちろん肉を持てば、もうご承知のように愚かな肉をまとう

わけですから、様々な苦しみを中心に抱えて生きていきます。真実を知らない間は、どんどんどんな肉にまつわる汚れや垢あかを中心に蓄えていくのです。

私はその汚れや垢あかを、心を見るところを通して、丹念に自分の中で掃除していきました。やがて私は何のために生まれてきたのかということを中心で知っていき、そして心で分かった真実の世界を、セミナーという時間、空間を頂き、お伝えしてきたという次第です。

これまでの説明で分かるように、このアルバートの波動、アルバートの世界を感じていくことが、セミナーの究極的な目的でした。アルバートを知らない人達が織り成すこの世のことは、所詮しよせん、地獄の世界の出来事です。それは今、自分達のいる世界を、自分自身形を持って、そして形を通して自分に見せている、教えている世界だということです。そのような中でどんなに栄耀えいよう栄華えいがを極めても、一番、二番の競争を繰り広げてても、地獄は地獄に違いありませんか。そのような地獄に浸り切っているのは、絶対、幸せで喜びの世界が広が

るわけはありません。地獄の世界をつかみながら、その世界にいながら幸せになりたいと言っているのだから、もう矛盾だらけです。そこから半歩抜け出し、一歩抜け出し、そして、その世界から飛び出していくこと、すなわち意識の転回をし始めてこそ、開けてくる幸せ、喜びの世界です。

同じ循環の中を、しかも悪循環の中をグルグル回っているということに早く気付いていただくさい。気付けるか気付けないかの違いです。その違いは、しかし計り知れないほど大きいです。天と地との差どころではありません。そのような世界のことを、私はセミナーを通して皆さんとともに学ばせていただきました。そして基準が違えば、私がお伝えしている世界と全くかみ合わないことも示してまいりました。

信じていくのも、信じていかないのも自由、何を信じていくかということも、みんな自分の選択です。そして自分が選択したものはきちんと自分で責任を取らなければなりません。取らなければならぬというよりも取るようになって

いるのです。私達は愛の中に生かされている意識だからです。それが愛です。愛はひとつです。愛は変わることなく、惜しむことなく、すべてに平等に流れています。その流れをせき止めて、または違う流れを作ろうとして、自ら苦しみ続けてきたということを心で気づき、そして本当の自分自身に懺悔ざんげするあなたに蘇よみがえってくださることを、ただただ待ち続けております。

あなたは待たれている幸せな存在です。どんなに時が巡ろうとも、本当のあなたはあなたはあなたを見捨てません。どんなにこれから間違い続けて存在しようとも、本当のあなたはあなたをただ信じて待っているだけです。それが真実の世界、あなたが本当に帰る世界です。その世界に戻ってきなさい、帰ってきなさいと、いつまでも呼び続けています。私はその世界に生き続ける意識、だから何度でも何度でもこのようにお伝えしています。私は喜びだからです。私の世界には喜びしかありません。その私の世界にあなたの心を合わせていってください。

私達は大いなる意識の流れの中で、今、このようにして肉を持って存在しています。肉を持たなければ、あなたは私と出会うことは叶^{かな}わなかったことでしょう。

肉を持ち、肉を通して知る真実の世界、その世界を知れば知るほど、今生生まれてきたことが、どれだけ喜びであつたかが心で分かります。ひとつの肉をもらうこと、それだけが喜びであつたのです。そのことに心で気付いた方、その方の人生は本当に幸せな人生だと言えましょう。私はそう断言できます。

決して消え去ることのない波動の世界の实在を心で確信されるということ、人類の長い歴史の中で初めてのことなのです。肉を持ちながら真実の波動の世界を広げていける、これは奇跡でも何でもありません。これこそが意識の流れなのです。その流れを心で感じられる方とそうでない方、当然の如くその生き方、死に方が違ってまいります。肉に対する思いが完全に違ってきます。

何を思い、何を考え、そして、あなたはこれからどのように生きていかれますか。私とともに生きていきませんか。私とともに歩いてみませんか。あなた

自身の過去を振り返りながら、そして、そんなたくさんのあなた自身を心に思いながら、いつもいつも私を思ってください。私はあなたがどんなに苦しくて間違った道を歩いてこられたか、よく知っています。それはあなた自身が本当のことを知らなかったからです。もちろん本当のあなたを捨て去ったのは、あなたに他なりません。だから、あなたはずっと苦しみの中にあったのです。もう苦しむことはやめにしませんか、私はあなたにそのように呼びかけています。どうぞ、あなたの心の中でご自分の叫びを聞いてあげてください。その声がああなたの心に届く優しいあなたに蘇よみがえってってください。私は待っています。あなたがあなたの心の中でいつまでも待っています。あなたが気付いてくれるのを、私は喜びで待ち続けています。

私は意識の流れの中にある自分というものを感じています。意識の流れは厳然げんぜんとしてあり、そのみが真実です。すべての意識が、この流れの中で真実に帰るために存在しています。その流れが自分の中で見えてくるというか、感

じられなければ、あなたの肉、そして、その周りの出来事はみんな苦しみとしてしかとらえられません。肉の幸せ、喜びも、そしてまた肉の苦しみも、みんなその根本が同じなのです。肉の幸せ、喜びが幸せで、肉の苦しみが不幸せということにはなりません。根本が分ならず、根本が腐っていればみんな間違っており、みんな苦しみなのです。しかし、あなたが真実に出会うためにそれらはみんな必要なことなのです。今、あなたが肉で幸せでも、肉が苦しんでいても、それらはこの意識の流れからすれば、ほんのちっぽけな出来事です。それを大きく大きく動かせない現実として心がとらわれていくから、何も見えず、ただ苦しみが苦しみとして目の前に広がっているだけです。そして、そこから逃げようとしても、避けようとしても、消し去ろうとしても、それは叶^{かな}わないことなのです。あなたがそれを受け止め、受け入れていく以外に、あなたがその苦しみから解き放されることはありません。私はそれが心で分かったのです。それらはみんな温もりを、安らぎを、そして本当の喜びを待ち続けてくれた私自身であつた、そのことを心で知りました。

肉を持ち、肉の生活の中に今現在存在している私にとって、何が本当の道であるのか、何を私は本当に望んできたのか、今ははっきりと答えを出すことができません。意識の流れの中に存在している私自身をはっきり感じるほどに、みんなその流れに沿っていけばいいのだという思いになりました。だから肉自ら苦しみの中に飛び込みません。肉に生きる道を自ら選ばないということです。

ただ今世、真実に目覚めるまではすべてを間違い続けてきた自分自身でしたから、それらを淡々と回収していくだけのことです。誰も肩代わりはできません。そして、それらを喜びとして受けていける心が自分の中にあることを私は知っています。すべてが喜び、喜びに帰るために私は存在し続けていることを知っています。

私のこれから先の道は、もう、すでに決まっています。道が見え、その道が真っ直ぐに続いていることを感じています。

しかし、まだまだ肉、肉で生きている意識、そして眞実の世界を肉で知ったものの、まだまだその道から程遠い意識、これからどれだけ眞実の道を歩いていくことができるかは、本当に未知数です。手探りの中を、それでも意識達は必死になって眞実を探し求めていくことでしょう。中から突き上がってくる思い、そのエネルギーが自分の内外から天変地異を起こし、自分自身に訴えてくるその思いは、まさに眞実に出会いたい心の叫びであるのです。

真っ直ぐに自分を見つめ、真っ直ぐに自分に物言える自分自身に蘇よみがえってください。自分自身に物言うのです。あなたの周りの人にはありません。あなたの周りに自分の思いをいくらぶつけてみたところで、あなたの心に返ってくるものは苦しみでしかない、不満、愚痴ぐち、呪いでしかありません。どうしてそんな悪循環をいつまでもやっているのかということ、自分に聞いてください。そうしたとき、他力の渦の中に沈み込んでしまっている自分自身と出会うのではないのでしょうか。あまりにも無知で、自己中心的で、欲いっぱい生きてきた何とも言えない自分の現実を、その心で知るのはないのでしょうか。

どんなに立派なことを述べようと、どんなに立派な態度を示しても、自分と真向かいになって自分を見つめるということをしてこなかった方が、自分の現実をその心で感じた時、その時一体どうなるのでしょうか。そのようなシナリオがそれぞれにちゃんと用意されています。否^{いや}が応^{おう}でもそういう現実を目^まの当たりにするようになってきます。偉くて、立派で、そびえ立つ自分を離していく、真つ暗闇の中をさまよい続けているのが、自分の現実だということを認めざるを得ない、そのようなシナリオが用意されています。その時喜んでその流れに任せていってください。あなたの肉は何もすることはできません。肉には何の力もありません。肉はただ自分自身の心の現実を知っていくために必要な器なのです。そして肉とはそれだけのものであることが心で本当に分かれば、また肉を通して伝わってくる世界の幸せと喜びは格別のものとなってくるでしょう。肉があればこそ感じられる幸せと喜び、その幸せと喜びが意識の世界のそれらと完全に一致してくるのです。だから自分の本当の姿をその心で知り、真実の世界に触れることなくして本当の幸せも、喜びも、分かりません。

もう、お分かりと思いますが、私達は肉の世界に存在しているのではなく、意識の世界に生きているエネルギーだからです。喜びのエネルギーと出会うことが私達の幸せ、喜びなのです。

肉の喜びと幸せは、求めた瞬間から苦しみが変わっていくことを、あなたの心はすでに知っているはずです。そうです、それらははかなく消えていく虚構きょこうの世界です。影を追いつ、影にしがみつくその心は苦しみ以外の何ものでもありません。しかし影を影だと思えないところに人類の悲劇がありました。すべては間違ってきた歴史の数々です。

もう、そろそろこの辺で筆を措おくにあたって、今世セミナーでともに学ばれた方々に一言申しておきます。

私とともに今世セミナーの時間と空間を共有された方々、本当にありがとうございます。ございました。私は今世、田池留吉というひとつの肉を頂き、皆さん方とこのように学ばせていただいたことが本当に嬉しいです。ありがとうございます。

た。

真実を知るものだけが私の本当の仲間です。私はセミナーでそのように言うてきました。持ちつ持たれつ妥協をしながら生きていくのが肉の世界の常識です。しかし、それは意識の世界には通用しません。肉の馴れ合い、肉の甘え、肉のぐり押しは一切通用しないことを何度も伝えてきましたけれども、どこまで心で分かってくださったのか、やはり我流で学ばれてきた方が多いのではなかったかと振り返っております。

心からすべてを捨て去って、一から始めるということは難しいことです。今世、私のもとに集った方々は、それこそ過去において、やはり神というか、目に見えない世界を求めてこられたのです。真実を求めて集ってきたというのが本当のところでしょうが、そういった過去からの過ちを自分の心で認めて修正することは、やはりなかなか難しかったというのが実際だったと思います。私は落胆らくたんして言っているのではなく、それほど難しいということを言っているのです。肉を持たなければ決して分らない真実の世界ではあるけれども、肉だ

として存在してきた思いは本当に根深くて、そう簡単に崩せないでしょう。それでも今世、それぞれの心に一石を投じたことには間違いはありません。それを活かす方と、そうでない方と、また二手に別れていくこれからの時だと思っています。

私達は強制されることも、縛^{しば}られることも、追い立てられることもない、何もかも自由です。自分で自分を縛^{しば}り、窮屈^{きゅうくつ}なところに追い込んでしまっただけで、そこから自由に羽ばたけばいいだけなのに、それができずにきた、狭い中に自分を押し込めてきただけです。苦しみの中に自ら飛び込んでいきました。そこに自分を幸せにしてくれるもの、喜びを感じさせてくれるものがあると信じたからです。結局、みんな外に求めてしまったことが間違いの大もとでした。学びに触れた人も、どれだけ自分の心でそのことに気付かれたかが大きなポイントでした。頭では誰しもが分かっています。二十年近く学び続けられたなら、人にお話しすることもできます。自分の体験を交^{まじ}えて話をされれば、それなりの内容になってきます。ましてや、そこにチャネリングというスパイス

を加えれば、それは人を引きつけるかもしれません。しかし、その話をされている方が本当のことを心で分かっておられるかどうかは、それによつて判断できません。端的に言えば、本当に真実の波動が分かる人でないと、それらは見分けられないということです。そんな失敗はこの学びの中においてずっと繰り返されてきましたが、それはこれからも繰り返されていくことだろうと私は思っています。みんなの中には、やはり他力の思いが根深く潜んでいるからです。教祖と信者のエネルギーで結びついてきた心を掘り下げて、しっかりと見てこられた方は僅かです。だから、どれだけ私が真実は自分の心の中にあるのですよと伝えても、それは素通りしてしまっているのです。私は、長く私とともに学んでこられた方々も、もう一度自分の学びの年月を振り返っていただきたい、いつも原点からという思いを忘れずに、今世学ばれたことが無駄にならないように、肉の時間を使われていかれたらと思っております。

私は二五〇年後の出会いを楽しみにして待っています。しかし一方で、二十年という年月を費やしてきたセミナーからも察せられるように、この道は平易

な道ではないことを、また私は皆さんに伝えてきました。事実、その通りです。その平易でない道を、これからそれぞれの実践を通して学んでいかれるということ。どうぞ本当のご自分を信じていく道を歩んでください。伝えるものはみんな伝えてきました。そして私は一人でも多くの方が心の転回を進められて、私とともに歩いていく道を見つけられることを、ただひたすら待っています。

「エルランティの光セミナー」から「UTA会セミナー」に引き継がれ、約二十年、ともに学ばせていただき、そのセミナーも二〇〇五年六月の下呂セミナーを最後に幕を閉じてまいります。セミナーの果たす役目も無事達成し、私の今世の仕事もほぼ終了させていただきました。後はそれぞれの心に任せて、私は皆さん方と笑顔で別れていきたい、二五〇年後にまたお会いしましょうの私の言葉、私の思いをあなたの心に残して、笑顔で再会を約束してお別れしていきたいと思っております。

もちろん私はこの肉が許す限り、ホームページを続けさせていただきます。皆さんと一堂に会して学ばせていただくという形は一応これで終了ですが、ホームページを通して、まだしばらくの間はともに学ばせていただきたいと思っております。そして私自身の最後の勉強をし終えて、時が来れば私は喜びでこの肉を離していくことでしよう。

愚かな肉を持った今世の人生、しかし私は最高に幸せな人生を頂きました。心の友との出会いがありました。二五〇年後に再会できる喜びの私を心で感じ、ともにこれからも生きていくことを確認させていただき、私はただただありがとう、ありがとうの思いでいっぱいです。肉を含む意識の世界の素晴らしさを私は心に広げています。すべてこれ、意識の流れの中での必然でした。そのことが今はもう私の中ではつきりとしています。私はもう何も望むものはありません。もちろん憂^{うれ}えることもありません。私の心の世界は喜びです。私はこの喜びの世界に戻っていくだけです。そして二五〇年後の出会いをひたすら喜びで待つ私です。

これからも色々な現象を通し、また様々な社会問題を通し、私達にメッセージが届けられます。狂い続け、間違い続けてきた人間社会の様子が続々伝えられてきます。そして、それでもその世界から心を離すことができない人間の愚かさ、露呈^{ろうてい}されていくことでしょう。そのような中において本当の喜びと幸せの道を歩いていくには、真実の世界、すなわちアルバートの波動、アルバートの世界との出会いがなければ不可能だということを、最後に強調させていただきます。

アルバートとともに生きていく、これがまさに意識の流れなのです。このアルバートの世界と出会うために、あなたが自分自身に書いてきたシナリオが、これからあなたの目の前に展開されていきます。どうぞ、そのシナリオを通して、私、アルバートと出会っていただくさい。私はあなたの心の中で待っています。

私は今世、このアルバートの波動を伝えにやってきた意識です。そして、そ

のことを今はつきりとこのような形を通して伝えることができました。真実に目覚めるために、長い転生を繰り返してきた意識の目覚めを得て、このように今あなたに伝えることができ、本当に私は心から嬉しいです。

「苦しみは愛、そして苦しんでいるあなたが間違っています。どうぞ真実に目覚めてください」私はこの言葉を、この波動を、これからも永遠にあなたに送り続けます。

おわりに

最後まで目を通してくださって、ありがとうございました。

さて、私はここでもう一度、キーポイントとなる言葉、文章を挙げさせていただきたいと思います。それはその言葉、文章を心に留めながら、ぜひ、あなたの心で何度も何度も繰り返し読んでくださればと思うからです。どうぞ、ご自分の心で感じるということを大切になさっていただくさい。

波動の世界だけが真実の世界です。

真実の世界はあなたの頭では分からない、あなたの心でしか分かりません。心を見ることがすべてです。

心を見ていけば苦しんでいるあなたに出会います。そして、その苦しんで

いるあなたが間違っているということです。

苦しんでいるあなたは偽物のあなたです。本当のあなたに出会っていただく。

本当の喜びと幸せを、その心で知っていただく。

意識の流れは厳然^{げんぜん}としてあり、私達はその流れの中に存在しています。

宗教では人は救えません。

天変地異は喜びのエネルギーです。

私達は喜び、すべてが喜びです。そして、すべてはアルバートとひとつです。

目まぐるしく流れる時の中で、どうぞ、ご自分をゆったりと振り返る時間を持つてください。

なぜ生まれてきたのか、なぜ死んでいくのか、この素朴^{そぼく}な疑問をいつも心に投げかけながら、日々を過ごされることを願ってやみません。

意識の流れ - アルバートとともに -

2005 年 1 月 10 日 第 1 版第 2 刷発行

著 者 田池留吉
発行者 久保明子
〒 229-1103 神奈川県相模原市橋本 7-2-9
TEL 042-771-9100
E-mail uta@tiara.ocn.ne.jp

発売元 株式会社かんぼう
〒 550-0002 大阪府大阪市西区江戸堀 1-2-14
TEL 06-6443-2171
FAX 06-6443-2175
印刷・製本 メディア・パック

© 2005 Tomekichi Taike, Printed in Japan
落丁本・乱丁本はお取替えいたします

意識の流れ
— アルバートとともに —

続
おわりに

続おわりに

「意識の流れーアルバートとともにー」を、いつも側に置いていただいていると思います。そして何度かお読みいただいたことだろうと思います。ありがとうございます。これから先も、いつも手に取り、そしてそこから流れる波動の世界、アルバートを感じていってください。アルバートの世界を感じ知り深めていくことに、きつとお役に立てるだろうと思っています。

さて、この本の「おわりに」というところで、キーポイントとなる十個の文章を挙げさせていただきました。

ここで、私はこの十個の文章をもう一度振り返っていきたいと思います。

どうぞ、あなたも自分はその十項目について、今どのように思っているのか、それぞれの心の中で今一度振り返る、そのような時間を持たれてみませんか。

本の冒頭にもありましたように、私達は一人でも多くの方々との出会いを喜びで待っています。その喜びの思いが、今回このような形になったと解釈していただければと思っています。

一、波動の世界だけが真実の世界です。

波動の世界は感じようと思っても感じられるものではありません。しかし、実はみんなその心で感じているのです。ただ実際にはそれが現実の世界であると知らないだけで、現実の世界は、あくまでも目に見えて耳に聞こえるこの世界だと思い込んでいるから、感じていても感じていないということでしょう。

肉にまみれた心は非常に鈍感な状態です。肉にまみれるとは、肉しか信じられない、肉の世界がすべてであると思っている、その思いが岩盤がんばんのように立ち塞ふさがっている心の世界を指します。もちろんそれは肉を基盤とする宗教、精神

世界すべてを含みます。肉にまみれた心の状態では、真実の波動の世界は絶対に分かりません。

あなたが自分の心を見ろということを重ね、自分自身がエネルギーであることに心で気付き始めたなら、周りの様々な事柄を形としてとらえるのではなく、波動、エネルギーとして感じていくようになってくるでしょう。

そうすれば、自然に分かってきます。形はどんなに立派であり素晴らしく誰もが認めているようなことであっても、真実とは遠くかけ離れている、すなわちそこから流れる波動は重く厳しく荒いものだとか心に伝わってきます。言っていること、していることと、それとの違いは何だろうかと感じ始めるのではないのでしょうか。

波動を感じていく、感じていける自分になっていく、すなわち自然に近づいていく、こういう状態になれば、真実の世界がはっきりと自分の心に映し出されてきます。

二、真実の世界はあなたの頭では分からない、あなたの心でしか分かりません。

私達人類は頭脳を誇ってきました。そして、脳を鍛えることによって立派な人間、素晴らしい人間、社会に役立つ人間を目指してきました。思考できることは人類の人類たる所以であり、だからこそ人類はこれまで目覚ましい進歩発展を遂げてきたと評価していますし、これからもバラ色の夢溢れる未来が展望できると思っています。

心は頭脳の一部であり、思いは頭を通過している人達が今はほとんどでしょう。心に感じたものを頭で分析する手法を使っています。そして頭で分析し、理解できたものだけを自分の中に取り込み、それ以外は流していくのです。その中において、「真実の世界は頭ではとても解明できない世界です。しかしながらそれはあなたの心で分かります」と伝えても、やはり頭で

解明しようとして、結局は分からないから信じられなくなってきました。

とにかく常に頭脳が中心であり先行しています。よもやその誇ってきた頭脳により、自らを滅ぼしていくとは思ひもよらないことでしょう。しかし、これからの時代は、人類の頭脳では到底理解できないことが日常茶飯事に起こってきます。

頭が先行するその中で、頭で理解できない事象を目の当たりにしたとき、人類はどのようにそれに対処していくのでしょうか。それでも人類の知恵を過信する傾向はさらに加速度を増してまいります。すなわち、どこまでも意識の流れに逆流する形でこれからの時間を経ていきます。

それがこれからの二五〇年という時間です。

三、心を見ることがすべてです。

「心を見るといふ作業をするために生まれてきました」と、今現在本当にそのように思われていますか。あなたの心で納得されていますか。人生の目的を他に探していききたい、求めていききたいという思いが心のどこかにありませんか。そういう思いを見過ごして、あるいは押し殺しておられないでしょうか。

また、心を見ても一向に変わらない、心癖はなかなか変えられないと思っておられませんか。

そのような思いの底にしっかりと流れている他力のエネルギーを、心で感じて確認してこられましたか。

心を見えるという作業の中で、こういった様々な思いがまた錯綜さくそうするかと思われます。それでいいのです。どのような思いが心によぎり、心に湧いて出てきても、ただ淡々と心を見ていくだけです。落ち込んだり投げやりになったりし

でも、またそこから自分で立ち上がり、心を見えるということにエネルギーを注いでいってください。

心を見えるという作業を通して、自分自身が培^{つちか}ってきたエネルギーを知っていけばいいだけなのです。そうすればそのエネルギーが、自らを駆^かり立て自分の中の愛に氣付いていくエネルギーであったと、必ず心に響いてくるときがやってくるでしょう。

四、心を見ていけば苦しんでいるあなたに出会います。そして、その苦しんでいるあなたが間違っているということなのです。

最初はみんな苦しみの自分と出会うことを拒否します。自分の中に苦しみがいっぱいあるにもかかわらず、それが自分自身であるということをはなかなか認めることができません。

自分自身であることが認められなかったなら、自分が間違ってきたと思えないのは当然です。苦しんでいるあなたが間違っていると言われても、受け入れられないのは当たり前でしょう。まずそこからです。

また、頭では自分は間違ってきました、たくさんさんの苦しみを抱えていますと理解できても、心の中は依然反発、拒否している場合も往々にしてあります。それは自分は正しい、間違っていない、素晴らしいという思いを心にまだまだ抱えている状態です。頭で理解することと心で分かることは、全く違うということを認識してください。

私は間違ってきましたと本当に心から湧き出てくることを体験することが、自分との出会いの第一歩です。もちろん、それで分かったということではありません。そこからがスタートだということです。

それすらもできないのはなぜか、小手先だけの反省と懺悔さんげは、それほど己がそびえ立ってきたという証です。己がそびえ立っているのは、自分を受け入れていくことは不可能です。なぜならばそびえ立つ心には、優しさと温もりが欠け

ているからです。常に自分が上、そういうところから受け入れていこうとしているのです。

五、苦しんでいるあなたは偽物のあなたです。本当のあなたに出会って
いってください。

いつまでも苦しんでいるのはなぜか、なぜいまだに苦しみを大きく残留させているのか、しっかりと心を見てください。自分を肉だとする思いが、どんな自分を苦しみのふちに沈み込ませていきます。ここがポイントです。自分から苦しみの中に入っているのです。あなたの足を引っ張っているものはあなた自身です。肉を本物とするあなたのその思いです。

そして、あなた自身は、そんなあなたが偽物であることもまた本当は知っています。知っていながら偽物のあなたをつかまえて苦しんでいるだけです。大

変滑稽こっけいです。しかも、苦しみながら私は素晴らしい、私は偉いとやっているかなおのこと滑稽こっけいです。

人生は喜びです。苦もあれば楽もあるのではなく、喜びです。苦しんで悲しんで悩んで嘆いて怒って暗い顔をして日々を過ごすよりも、ほんの少しでも嬉しいと思えることを見つけ出して、前へ前へ歩いていこうと肉からでも始めてみてください。いくらでも優しさに温もりに触れていきます。優しさがあなただから、温もりがあなただから、あなたがその気になりさえすれば、いつもあなたにエールを送っている自分自身と出会えるチャンスは、いくらでもあるはずです。

六、本当の喜びと幸せを、その心で知っていただくさい。

自分が望むものを手中に収められれば確かに嬉しいし幸せでしょう。望みが

叶えられれば、これもまた大満足でしょう。

アルバートを知る前なら、それは私もそうだろうと領きます。確かに瞬間的に感じる嬉しさも満足感も否定しません。しかし、それらの思いは同時に欲の思いを膨らませていきます。瞬間的に感じて瞬間的に消えていくものだから、もう一度、もつともつととなつていきます。もうお分かりだと思いますが、それは苦しみに繋がっていきます。

もう一度、もつともつとと思う思いは苦しみです。

思いが叶えば、さらにその思いが膨らんでいき満足感はすぐに不満に変わっていくし、叶わなければ、呪いと恨みに変わっていくからです。

アルバートの世界には、もう一度とかもつとがありません。アルバートの世界は喜びだけからです。もう一度と思わなくても、もつともつと思わなくても、喜びだけです。すべてが喜びの世界だから、そういう思いが湧いて出てこないということです。

もう一度アルバートを感じたいとか、もつともつとアルバートを感じたいと

か、そうではなく、ただアルバートを感じて幸せです、喜びですの思いだけが心を埋め尽くしていくのです。

七、意識の流れは厳然^{げんぜん}としてあり、私達はその流れの中に存在しています。

意識の流れとは次元移行を指します。私達は時空を超えて三次元のこの地球にやってきました。そして、地球時間で言えば、あと約三〇〇年を経てまた時空を超えていくのです。これを意識の流れとお伝えしています。

このようにお伝えしても、心に響いてこなければ、それは本当だろうか、いやひょっとして本当かもしれないという程度に留^{とど}まってしまいます。

信じたくても心で分らないから、そうだとも言えないし、違^{ちが}うとも言えない、何とも言えないというのが実際だと思います。だから、今は無理にそう思

おうとしなくてもいいし、また周りにそうだと言う人がいても、そういうものにとらわれることだけはおやめくださいと申し上げておきます。

ただ、そういう方々であつても、意識の流れの中に存在している私達だから、今このような学びのチャンスを用意しているということは、何とはなしに感じておられるかもしれません。

一方で、この意識の流れを心で感じ始めている方もおられると思いますが、どちらにしても、喜んで喜んで、ただ伝えてもらったことを実践していけばいいのではないのでしょうか。そうすれば、その流れは必ずどなたの心にも見えてきます。私は流れそのものであったと心に響いてくる日が必ずやってきます。それを信じてやっていくだけだと思います。

そういうふう to 思いを広げていけば、どうですか、何となく嬉しいと心に響いてきませんかでしょうか。

八、宗教では人は救えません。

私達は意識です。宗教は肉です。

だから宗教では人は救えない、結論は簡単です。

宗教の世界は心を説いていかにも心の世界を語っているようですが、人間を肉としてとらえ、神、仏、宇宙のパワーを崇高な世界だと位置づけているから全く間違いです。

また、肉だから金銭等々を要求し、要求された側は見返りを求めます。それが肉の世界の常識です。

アルバートの世界は無償です。しかし、肉の宗教の延長線上にアルバートの世界もあると思っている方々にとっては、無償という意味が分かっておられない、従って無償だからと軽くとらえる傾向にあります。

また、全く違うと言っても、どのように違うのか、その根本がお分かりにな

らないから、アルバートを思う思いの向け先は、助けてください、救ってください、何とかしてくださいとなっていくきます。

真実の世界、アルバートの世界は、救ってください、導いてください、救ってあげましょう、導いてあげましょうの世界ではなく、自分を救うのは自分、自分を導いていくのは自分だとはつきりと申し上げています。

これから宗教の世界はことごとく崩壊ほうかいしてまいります。もちろん宗教に限りません。医学の世界もそうでしょうし、教育界等々もそうでしょう。それらの現場はますます混乱していきます。人を救うということ、人を導くということのエネルギーのすさまじさと、肉では不可能だということが、人的現象を通して示されていくことでしょう。

九、天変地異は喜びのエネルギーです。

これこそ、まさに波動の世界を心で感じられなければ、絶対に分らないことです。肉の次元では、なぜ天変地異が喜びなのかと思うだけです。肉の喜びと幸せを打ち砕く天変地異は恐怖そのものであり、人類にとってマイナスの要因だと位置づけられるだけです。

しかし、アルバートの波動、アルバートの世界を広げていったとき、天変地異は喜びのエネルギーだとはつきりと分かります。天変地異はアルバート、すなわちプラスのエネルギーであり、アルバートの中で起こるべき出来事ですと伝わってきます。立っている基盤が違えば、両極端です。

全く無知なままに存在してきた人類に、最終的な救済の道が用意されています。このことを喜ばないで一体何を喜んでいくのでしょうか。自ら予定してきた道筋を辿っていける人類は、本当に幸せな存在であると言えるでしょう。

無知とエゴと欲が作り上げた実在の世界は架空の世界でたと知っていく手立ては、もう天変地異以外にはないことは明白です。すべての存在は喜びであることを、波動の世界は伝え続けてくれています。

十、私達は喜び、すべてが喜びです。そして、すべてはアルバートとひとつです。

アルバートとひとつ、肉を持ちながらこのことを心で感じさせていただきました。私はその事実を淡々とお伝えしているだけです。誇る思いも特別なとする思いも何もなく、ただアルバートとひとつの喜びと幸せ、その現実を語っています。

その一方で、肉は肉の思いをすべて捨て去ることはできません。肉を持つている以上、それは不可能です。

アルバートを感じるとはそういうことではなく、ただアルバートを思っている私には肉がない、肉でない私がそこに存在している、その私がアルバートとひとつを感じている、そしてそれが私自身であると私は信じている、そういうことです。

そういうことであり、それだけのことですが、それは大変な喜びです。この出会いをずっと待ち続けてきた意識にとって、それは大変な出来事です。私はその喜びと幸せを伝えていきます。

同時にすべてがひとつですから、必ずということが信じられるのです。その信じる信が波動となり意識達に伝わっていくのだと思っています。

私達は喜びでした、そう喜び合えるその瞬間を私達は心待ちにしています。

